

大学生定住意識調査 報告書

平成28年3月
豊橋市

目次

1.調査内容	・・・1
2.調査結果の概要	・・・3
3.補足資料：調査結果の詳細	・・・13
1. 調査回答者の属性（問1～問6）	・・・14
2. 卒業後の進路と就職活動状況（問7～問15）	・・・19
3. 住みやすさに関する評価と定住意向（問16～問21）	・・・36
4. アンケート調査票	・・・54

1. 調査内容

1 調査目的

本調査は、市内3大学の学生の定住に関する意識を調査・分析することにより、若者の定住に向けた施策の検討のための基礎資料を得ることを目的とする。

本調査において具体的に明らかにする点は以下の2点である。

- (1) 市内3大学に通う大学生の卒業後の動向と就職活動の状況
- (2) 市内3大学で学ぶ大学生の視点で「定住するのに住みよいまち」に求めることはどのようなものか

2 調査設計

- (1) 調査対象 市内3大学（豊橋技術科学大学・愛知大学・豊橋創造大学）の最終学年に在籍中の大学生および大学院生
- (2) 抽出方法 大学担当者を通じて調査対象者を抽出
- (3) 配布人数 2,190人（内訳：豊橋技術科学大学 1,013人、愛知大学 775人、豊橋創造大学 402人）
- (4) 調査方法 調査対象者の所属研究室またはゼミナールを通じて調査票を配布し、郵送で返送
- (5) 調査期間 平成27年10月31日（土）～12月7日（月）到着分まで

3 調査項目

- (1) 調査回答者の属性（問1～問6）
- (2) 卒業後の進路と就職活動状況（問7～問15）
- (3) 住みやすさに関する評価と定住意向（問16～問21）

4 回収結果

- (1) 回収数 909人
- (2) 有効回収数 904人（全問無回答及び属性のみ回答は無効）
- (3) 有効回収率 41.3%

5 報告書を見る際の注意事項

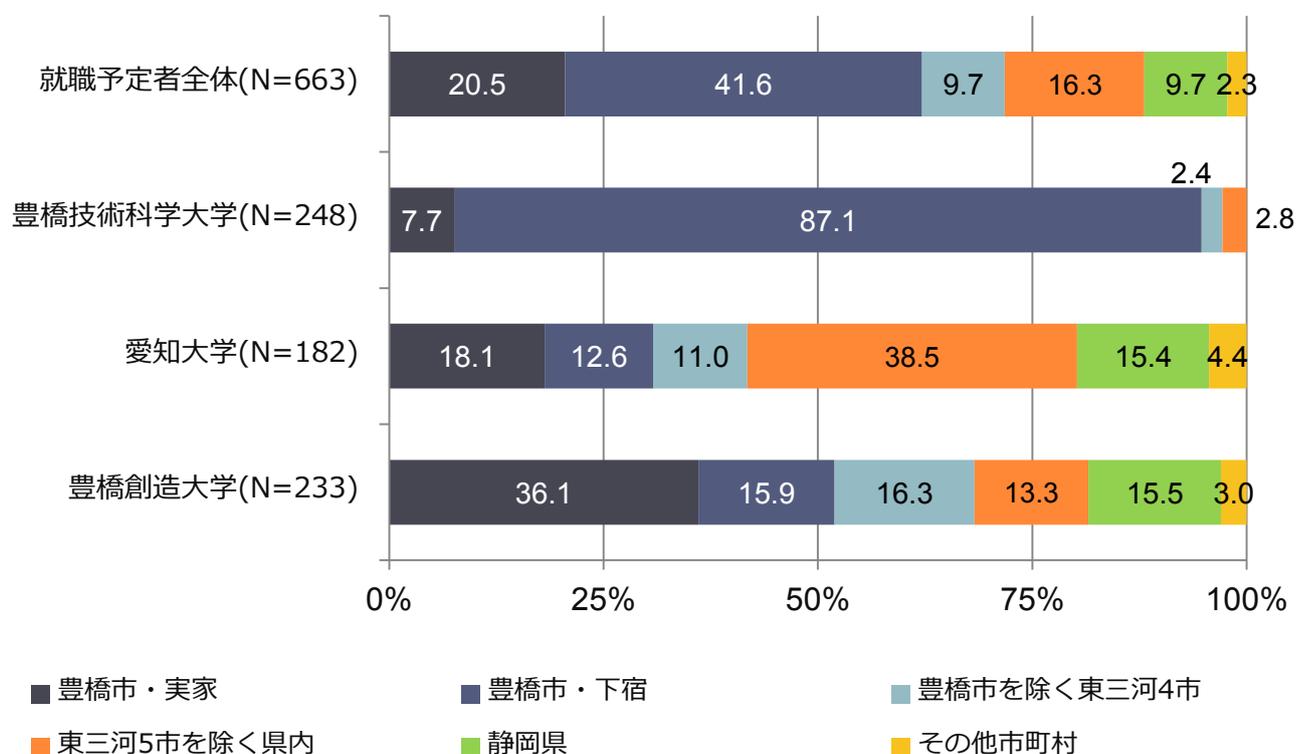
- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。そのため百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 回答比率（%）は、その設問の有効回答者数を母数として算出した。
- (3) クロス集計では年齢などの属性が無回答であった回答者を集計対象外としたため、クロス集計の回答数の合計が全体の回答数を下回ることがある。
- (4) 本文中の各設問の図中に示されている「N=〇〇」の数値は、当該設問の有効回答者数である。
- (5) 表・グラフ等の見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。
- (6) 自由回答については、本来の意味を損なわない程度に回答を抜粋表記している場合がある。

2. 調査結果の概要

1. 市内大学生の居住地および居住状況

- 来春就職予定の回答者のうち、62.1%は豊橋市に居住しており、在籍大学ごとに以下の特徴を有していた。
 - 豊橋技術科学大学の回答者のうち、豊橋市に居住している学生は94.8%であった。また、豊橋市で下宿している学生は87.1%であった。
 - 愛知大学の回答者のうち、豊橋市に居住している学生は30.7%であった。また、豊橋市で下宿している学生は12.6%であった。
 - 豊橋創造大学の回答者のうち、豊橋市に居住している学生は52.0%であった。また、豊橋市で下宿している学生は15.9%であった。

就職予定の学生：現在の居住地および居住状況

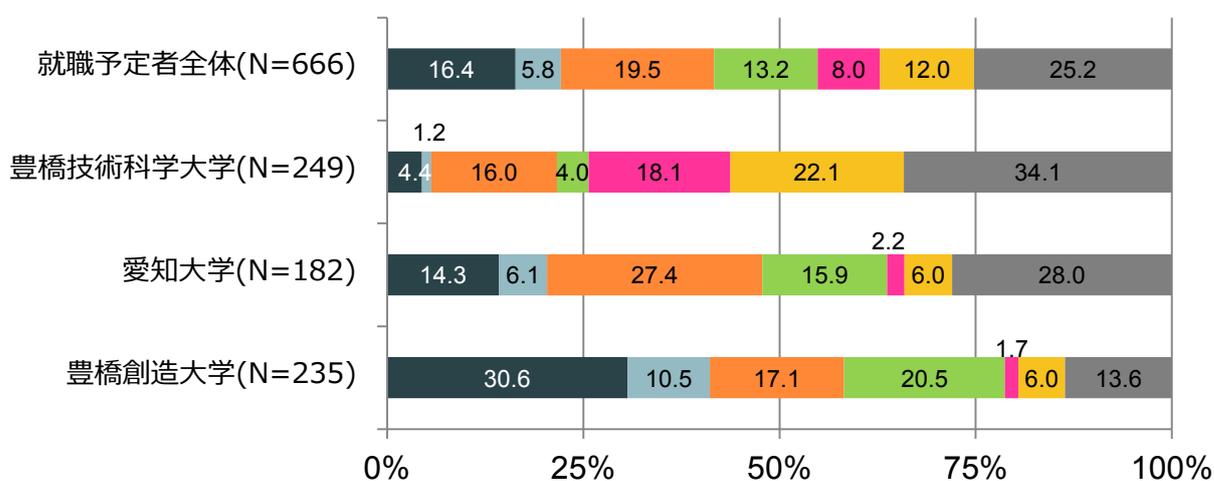


※現在の居住地と居住状況不明者を除外

2. 市内大学生の卒業後の勤務予定地

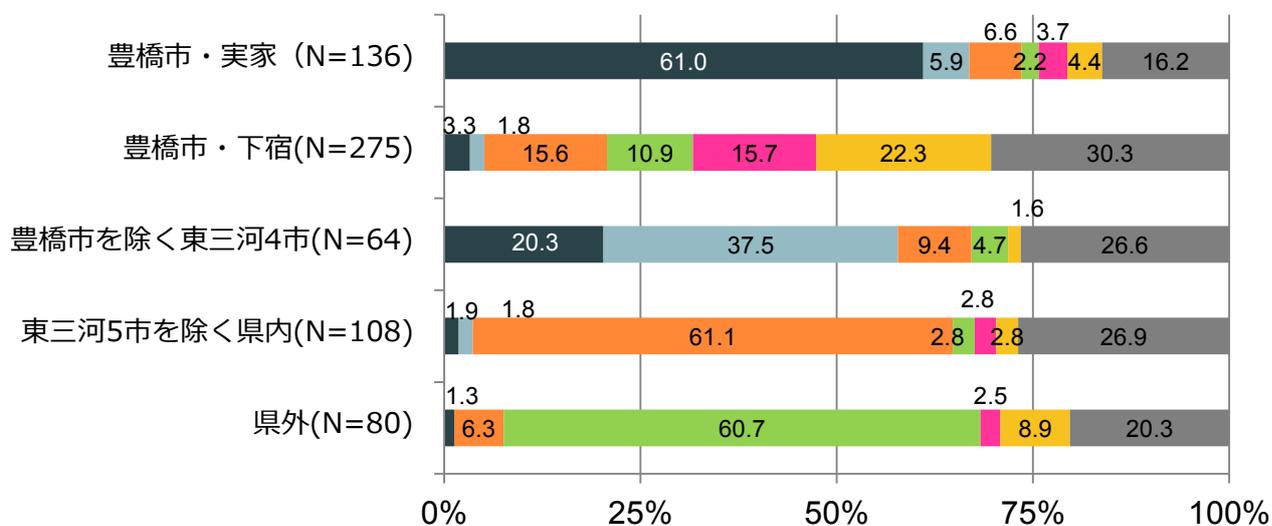
- 来春就職予定の回答者のうち、調査時点で豊橋市が勤務予定地の学生は16.4%であった。大学別にみると、豊橋市が勤務予定地の回答者は、豊橋技術科学大学で4.4%、愛知大学で14.3%、豊橋創造大学で30.6%であった。
- 回答者を現在の居住地で分けると、卒業後の勤務予定地は現在の居住地に近隣している傾向にあった。しかし、豊橋技術科学大学の学生を主とする豊橋市（下宿）居住者において、豊橋市が勤務予定地の割合は3.3%にとどまっており、若年層の市外転出に影響を与えていると考えられる。

就職予定の学生：卒業後の勤務予定地（大学別）



■ 豊橋市 ■ 豊橋市を除く東三河4市 ■ 東三河5市を除く県内 ■ 静岡県 ■ 首都圏 ■ その他市町村 ■ 勤務地未定

就職予定の学生：卒業後の勤務予定地（居住地別）

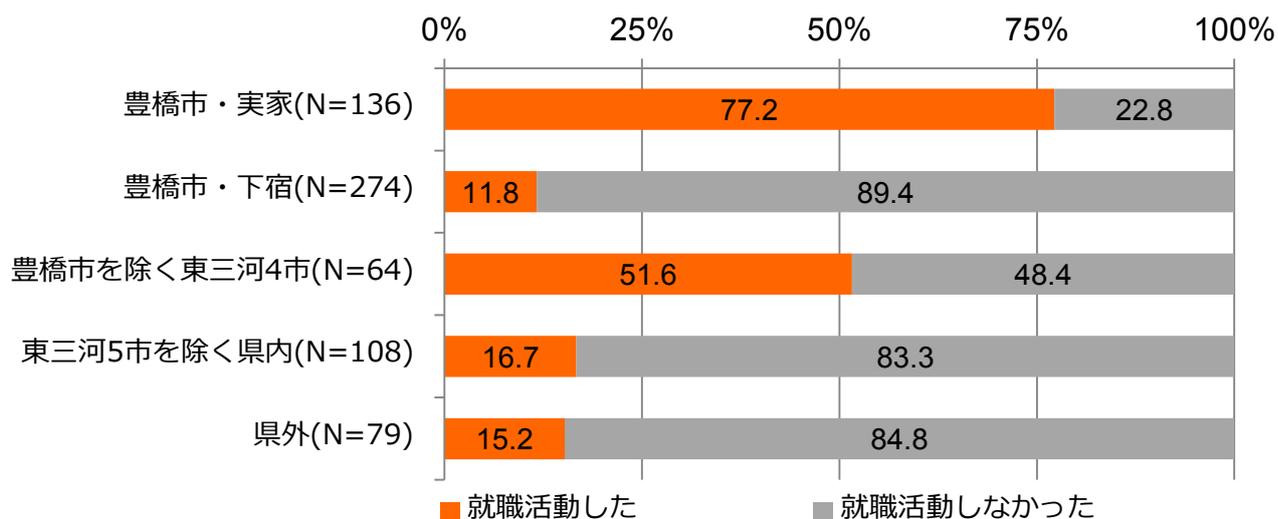


■ 豊橋市 ■ 豊橋市を除く東三河4市 ■ 東三河5市を除く県内 ■ 静岡県 ■ 首都圏 ■ その他市町村 ■ 勤務地未定

3. 市内企業等への就職活動状況（居住地別）

- 豊橋市（実家）居住者の77.2%、豊橋市を除く東三河4市居住者の51.6%が市内企業等へ就職活動を行っていた。
- 一方、豊橋技術科学大学の学生を主体とする豊橋市（下宿）居住者、東三河5市を除く県内居住者と県外居住者のうち、市内企業等への就職活動を行った学生の割合は10~20%であった。
- 市内企業等への就職を行わなかった理由として、豊橋市（実家）居住者で主に選ばれたのが“実家を離れたかったから”に対し、豊橋市（下宿）居住者や豊橋市を除く東三河4市居住者では“志望業界の企業がなかったから”が主に選ばれた。
- 市内企業等への就職を行わなかった理由として、東三河5市を除く県内居住者や県外居住者で主に選ばれたのは、“家族や友人の近くで生活したいから”であった。

市内企業等への就職活動について



市内企業等へ就職活動を行わなかった理由 上位3項目

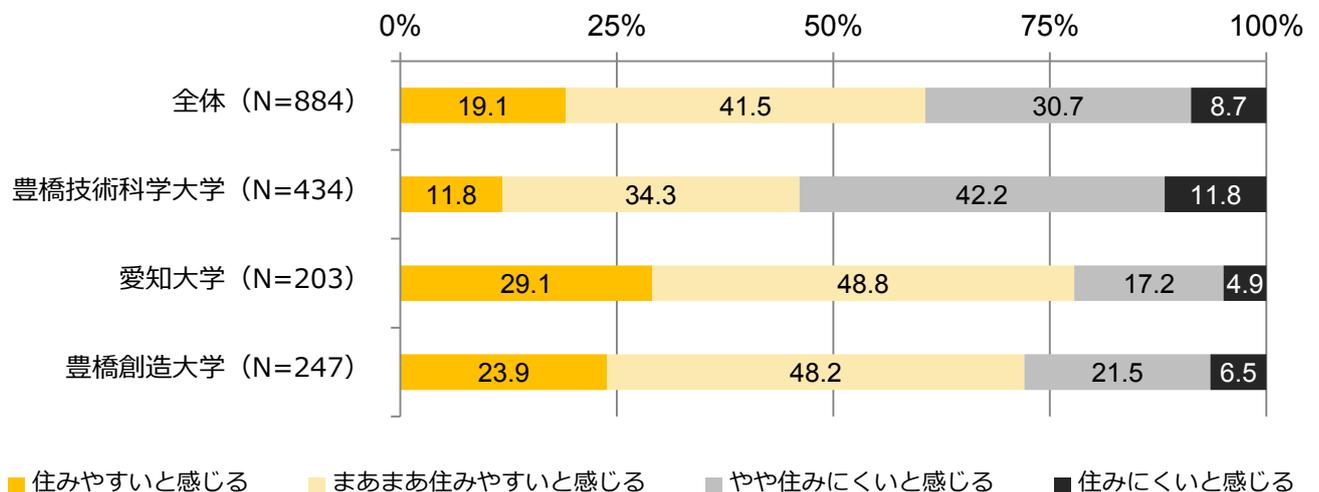
豊橋市・実家 (N=31)	豊橋市・下宿 (N=245)	豊橋市を除く 東三河4市 (N=31)	東三河5市を除く 県内 (N=90)	県外 (N=67)
実家を離れたかったから (22.6%)	志望業界の企業がなかったから (27.3%)	家族や友人の近くで生活したいから (22.6%)	家族や友人の近くで生活したいから (48.9%)	家族や友人の近くで生活したいから (56.7%)
志望業界の企業がなかったから (19.4%)	家族や友人の近くで生活したいから (24.1%)	志望業界の企業がなかったから (19.4%)	豊橋市の雰囲気が好きではないから (12.2%)	豊橋市の雰囲気が好きではないから (13.4%)
給与・福利厚生レベルが十分でなかったから (9.7%)	大手企業がなかったから (18.0%)	志望職種の募集がなかったから (16.1%)	志望業界の企業がなかったから (8.9%)	家族に地元に残るよう言われたから (11.9%)

※複数回答、選択肢「その他」を除く

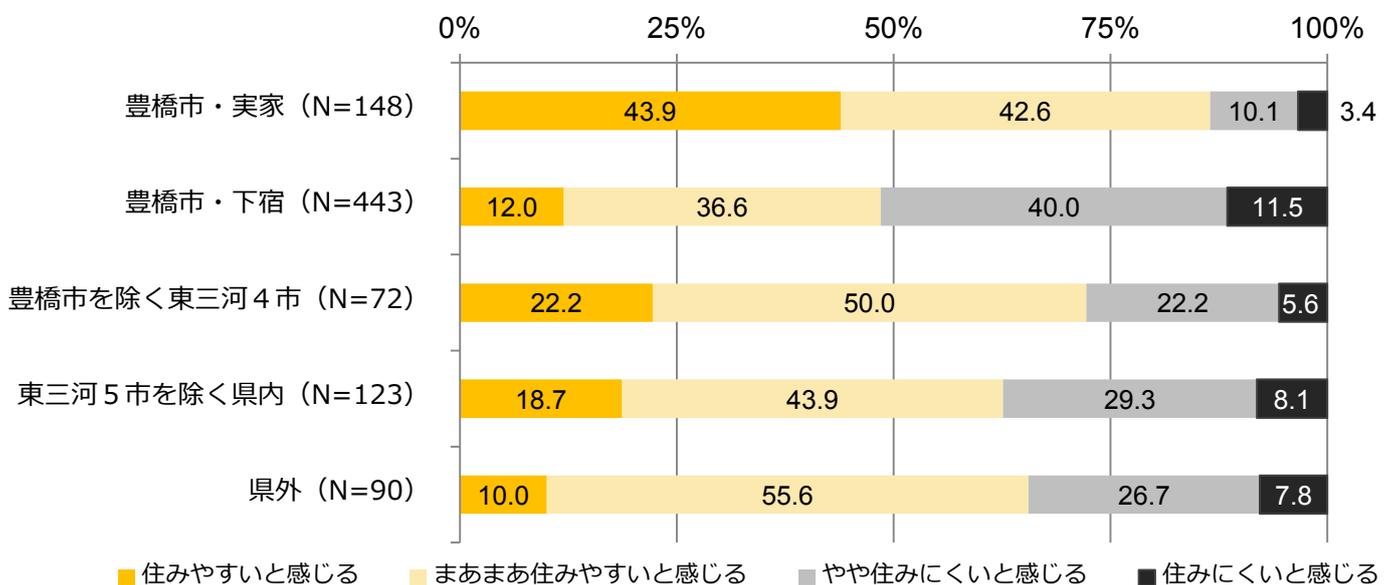
4. 豊橋市の住みやすさに関する評価

- 住みやすさの評価について、“住みやすいと感じる”または“まあまあ住みやすいと感じる”と回答した人の割合は回答者全体の60.6%であった。
- 大学別にみると、“住みやすいと感じる”または“まあまあ住みやすいと感じる”と回答した人の割合が70%を超えた愛知大学（77.9%）と豊橋創造大学（72.1%）に対し、豊橋技術科学大学では46.1%と50%未満であった。
- 居住地別にみると、“住みやすいと感じる”または“まあまあ住みやすいと感じる”と回答した人の割合が70%を超えた豊橋市（実家）居住者（86.5%）と豊橋市を除く東三河4市居住者（72.2%）に対し、豊橋市（下宿）居住者は48.6%と50%未満であった。

豊橋市はどの程度住みやすいと感じますか（大学別）



豊橋市はどの程度住みやすいと感じますか（居住地別）



5. 豊橋市の住みやすさに関する評価の理由

- 豊橋市が住みやすいと感じる理由として、豊橋市（実家）居住者や豊橋市を除く東三河4市居住者で主に選ばれたのが“家族や友人が近くにいるから”であるのに対し、東三河5市を除く県内居住者や県外居住者では“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすいから”が主に選ばれた。
- 豊橋市が住みにくいと感じる理由として、全ての居住地の回答者で主に選ばれたのは、“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きにくいから”であった。この背景として、多くの大学生が豊橋市内を自動車で自由に移動できる環境にないことが考えられる。

豊橋市が住みやすいと感じる理由 上位3項目

豊橋市・実家 (N=128)	豊橋市・下宿 (N=215)	豊橋市を除く 東三河4市 (N=52)	東三河5市を除く 県内 (N=77)	県外 (N=59)
家族や友人が 近くにいるから (68.0%)	物価や家賃などの 生活コストが安い から (29.8%)	通学に便利だから (48.1%)	公共交通や徒歩・ 自転車で目的地に 行きやすいから (58.4%)	公共交通や徒歩・ 自転車で目的地に 行きやすいから (45.8%)
通学に便利だから (43.0%)	通学に便利だから (28.8%)	家族や友人が 近くにいるから (40.4%)	通学に便利だから (37.7%)	通学に便利だから (37.3%)
過ごしやすい気候 だから (38.3%)	過ごしやすい気候 だから (27.4%)	公共交通や徒歩・ 自転車で目的地に 行きやすいから (25.0%)	まちがにぎやかで 店舗が充実してい るから (26.0%)	過ごしやすい気候 だから (27.1%)

※ 問16で“住みやすいと感じる”または“まあまあ住みやすいと感じる”と回答した人が対象

豊橋市が住みにくいと感じる理由 上位3項目

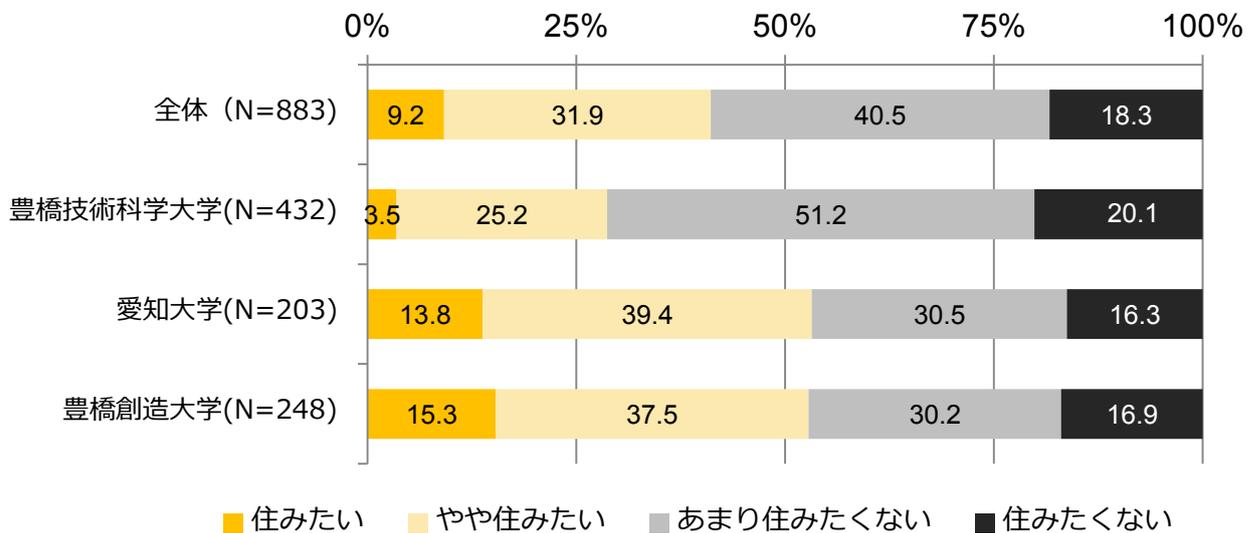
豊橋市・実家 (N=20)	豊橋市・下宿 (N=229)	豊橋市を除く 東三河4市 (N=20)	東三河5市を除く 県内 (N=46)	県外 (N=31)
公共交通や徒歩・ 自転車で目的地に 行きにくいから (80.0%)	公共交通や徒歩・ 自転車で目的地に 行きにくいから (74.2%)	公共交通や徒歩・ 自転車で目的地に 行きにくいから (50.0%)	公共交通や徒歩・ 自転車で目的地に 行きにくいから (56.5%)	治安が良くない から (51.6%)
まちがにぎやかで なく店舗が不足し ているから (50.0%)	魅力的な商業・レ ジャー施設が不足 しているから (42.8%)	通学に不便だから (35.0%)	通学に不便だから (56.5%)	公共交通や徒歩・ 自転車で目的地に 行きにくいから (45.2%)
魅力的な商業・レ ジャー施設が不足 しているから (50.0%)	通学に不便だから (33.6%)	バイクや自動車 で目的地に行きにく いから (35.0%)	魅力的な商業・レ ジャー施設が不足 しているから (32.6%)	通学に不便だから (35.5%)

※ 問16で“住みにくいと感じる”または“やや住みにくいと感じる”と回答した人が対象

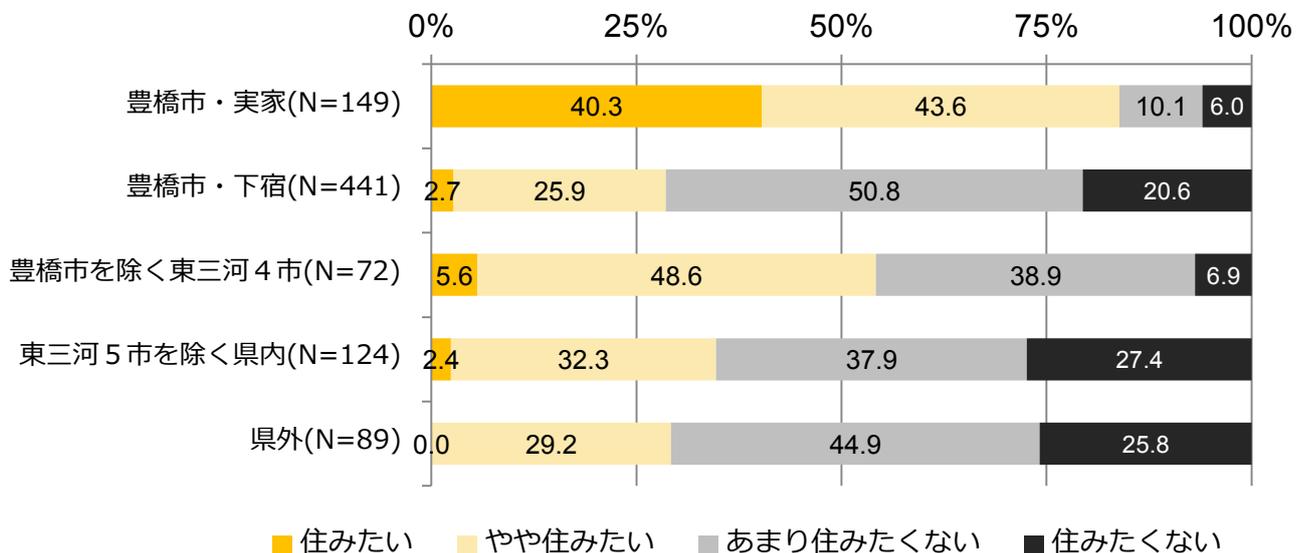
6. 豊橋市への居留意向

- 豊橋市への将来の居留意向について、“住みたい”または“やや住みたい”と回答した人の割合は回答者全体の41.1%であった。
- 大学別にみると、愛知大学と豊橋創造大学の回答者は“住みたい”または“やや住みたい”と回答した人の割合が50%を超えたのに対し、豊橋技術科学大学では28.7%と50%未満であった。
- 居住地別にみると、“住みたい”または“やや住みたい”と回答した人の割合が50%を超えた豊橋市（実家）居住者と豊橋市を除く東三河4市居住者に対し、豊橋市（下宿）居住者、東三河5市を除く県内居住者と県外居住者は50%未満であった。

将来どの程度豊橋市に住みたいと思いますか（大学別）



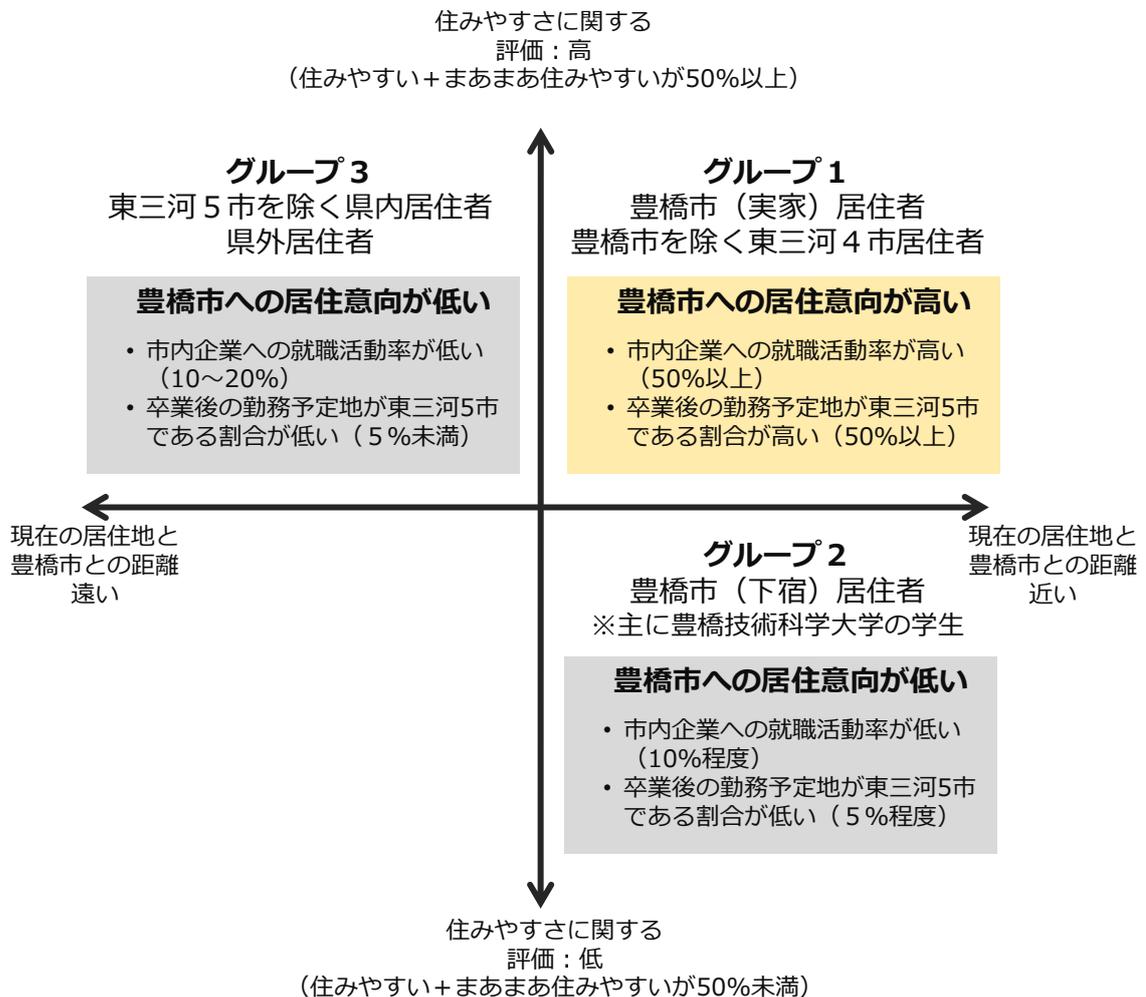
将来どの程度豊橋市に住みたいと思いますか（居住地別）



7. 豊橋市への居住意向の分析

- アンケート結果に基づき、「現在の居住地と豊橋市との距離」と「住みやすさに関する評価」で以下の3グループに分けると、グループごとに豊橋市への居住意向を分類することができた。
 - ・ **グループ1**：「豊橋市との距離が近く、住みやすさに関する評価が高い」豊橋市（実家）居住者および豊橋市を除く東三河4市居住者
 ⇒豊橋市への居住意向が高い。
 ⇒市内企業への就職活動率および卒業後の勤務予定地が東三河5市である割合が高い。
 - ・ **グループ2**：「豊橋市との距離が近いが、住みやすさに関する評価が低い」豊橋市（下宿）居住者
 ⇒主に豊橋技術科学大学の学生で、豊橋市への居住意向が低い。
 ⇒市内企業への就職活動率および卒業後の勤務予定地が東三河5市である割合が低い。
 - ・ **グループ3**：「豊橋市との距離が遠く、住みやすさに関する評価が高い」東三河5市を除く県内居住者および県外居住者
 ⇒豊橋市への居住意向が低い。
 ⇒市内企業への就職活動率および卒業後の勤務予定地が東三河5市である割合が低い。

豊橋市への居住意向に関するグループ分け



8. 今後の施策の方向性

本調査で判明したグループごとの特徴に合わせた定着の取組みが必要と考える。人口減少を抑制する観点では、グループ1とグループ2に対する取組みが優先されるが、交流人口の増加の観点では、グループ3に対する取組みも重要である。

● グループ1：豊橋市（実家）居住者および豊橋市を除く東三河4市居住者

取組みの方向性：就職時における市外流出の抑制

就職時での市外流出を更に抑制するため、市内企業への短期インターンシップや、市内企業に勤務する社会人と学生が出会える場づくりを進め、市内企業が就職先の候補となるよう、就職活動前から市内企業の認知度を高めることが必要である。

● グループ2：豊橋市（下宿）居住者

取組みの方向性：就職時での市外流出の抑制と豊橋市への好感度アップ

市内企業へ就職活動をせずに他地域の企業に就職する学生に対し、就職活動時の企業マッチングなどの取組みが必要である。また、豊橋市が将来的にIターンの候補先として検討してもらえるよう、過ごしやすい気候など住みやすさに関する評価が高かった項目の認知を高める取組みや、評価が低かった公共交通や自転車等による目的地への移動に対する支援などを通じて豊橋市への好感度を高める取組みも重要である。

● グループ3：東三河5市を除く県内居住者や県外居住者

取組みの方向性：卒業後のつながり維持と豊橋市で働ける仕組みづくり

卒業後も豊橋市に來訪してもらえるよう、市内で行われるイベント等への参加促進、豊橋市を活性化させる学生生活動への支援や同窓会などの開催支援など、学生とつながりを作り、維持する取組みが必要である。また、市内企業への通勤が困難と考える学生に対し、通勤可能な企業とのマッチングや、市内企業に就職を希望する学生への住宅支援など、豊橋市で働ける仕組みづくりを行う必要がある。

3. 補足資料：調査結果の詳細

1. 調査回答者の属性（問1～問6）

（1）回答者数（大学別）

回答者の在籍大学（問1）

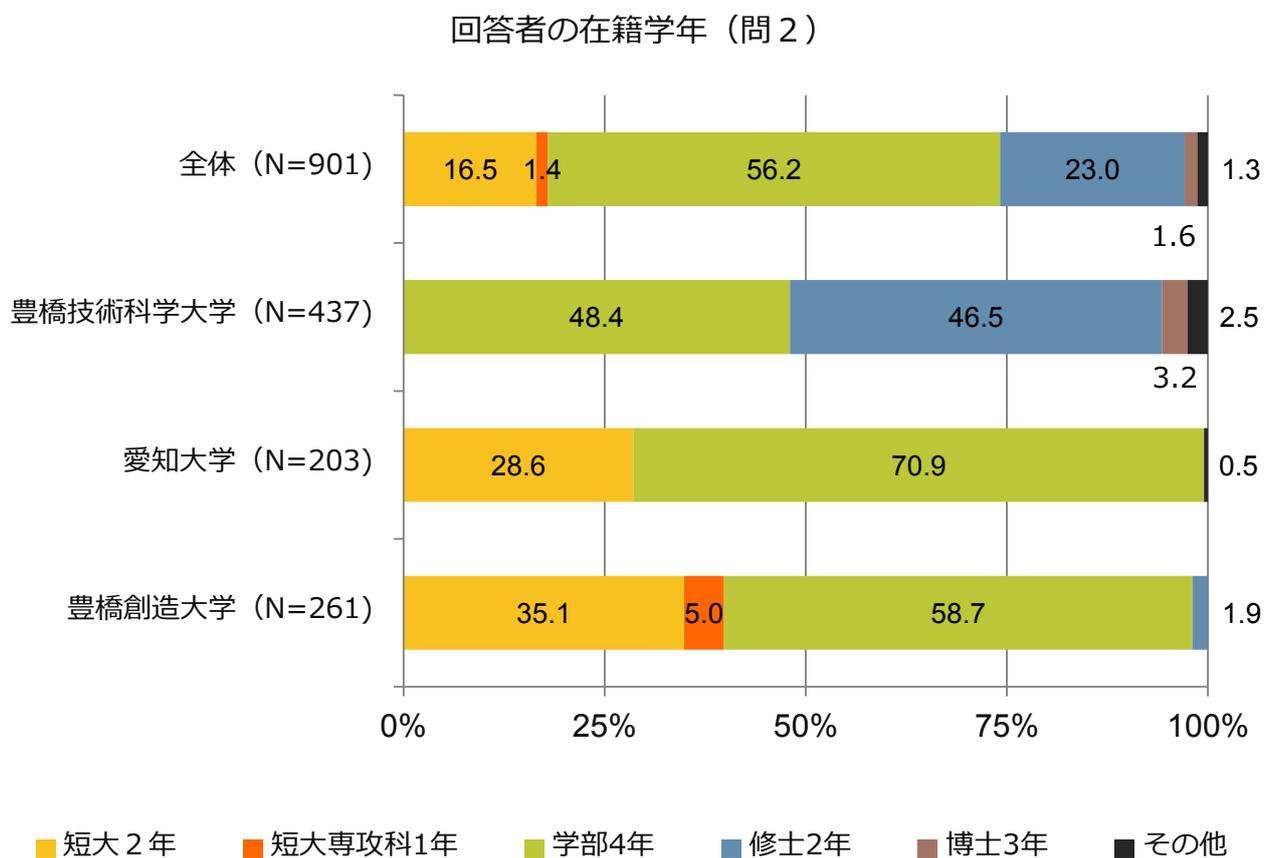
在籍大学	発送数 (通)	有効回答数 (通)	返信率 (%)
豊橋技術科学大学	1013	438	43.2
愛知大学	775	205	26.5
豊橋創造大学	402	261	64.9
3大学合計	2190	904	41.3

(2) 回答者の在籍学部・学科（大学別）

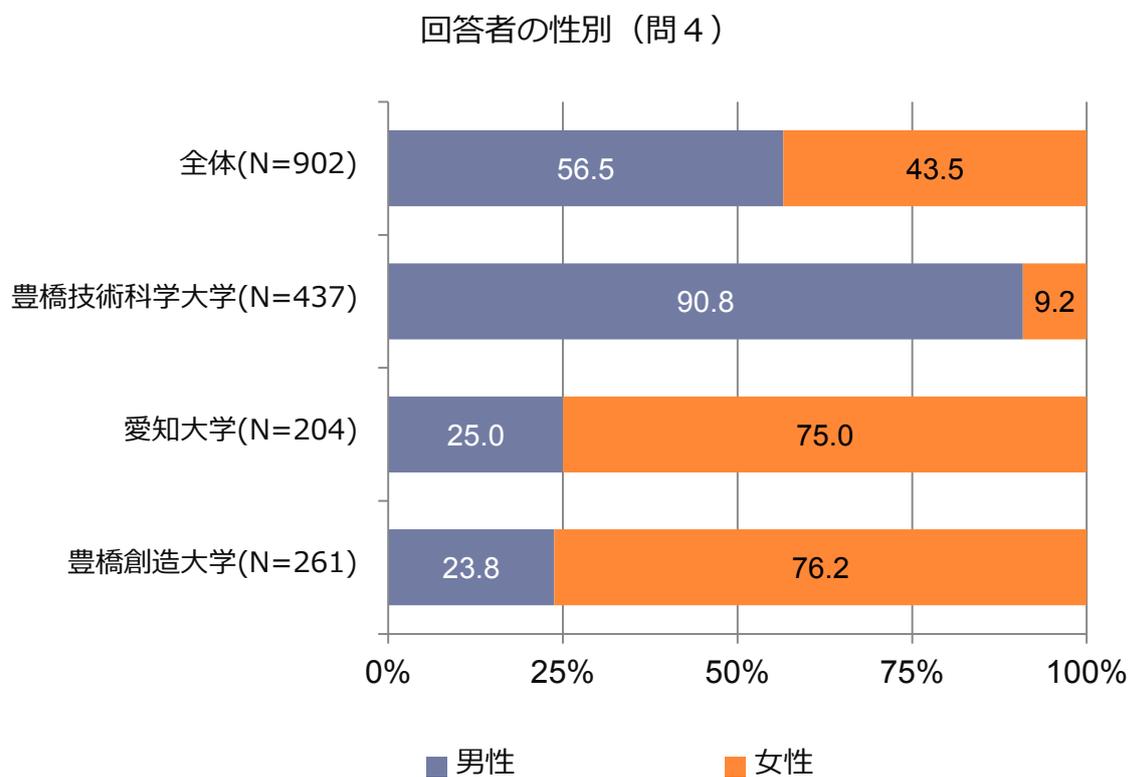
回答者の在籍学部・学科（問3）

在籍大学	学部・学科	人数
豊橋技術科学大学 (N=438)	機械工学	145
	電気・電子情報工学	94
	情報・知能工学	82
	環境・生命工学	64
	建築・都市システム学	53
	総合教育院	0
愛知大学 (N=205)	大学院 文学研究科	0
	文学部	95
	地域政策学部	52
	短期大学部・ライフデザイン総合学科	58
豊橋創造大学 (N=260)	大学院 健康科学研究科	6
	大学院 経営情報学研究科	1
	保健医療学部 理学療法学科	40
	保健医療学部 看護学科	90
	経営学部 経営学科	19
	短期大学部 幼児教育・保育科	46
	短期大学部 キャリアプランニング科	44
	短期大学部 専攻科（福祉専攻）	13
	短期大学部 専攻科（医療情報専攻）	1

(3) 回答者の在籍学年（大学別）



(4) 回答者の性別 (大学別)



(5) 現在の居住地と居住状況（大学別）

現在の居住地と居住状況（問5、問6）

	豊橋技術科学 大学 (N=434)	愛知大学 (N=204)	豊橋創造大学 (N=256)	全体 (N=894)
1 豊橋市・実家	6.7	16.2	36.7	17.7
2 豊橋市・下宿	88.2	13.2	15.6	50.8
3 豊川市	1.6	6.9	8.2	4.8
4 蒲郡市	0.2	1.0	3.5	1.4
5 新城市	0.5	2.0	2.3	1.4
6 田原市	0.2	1.5	2.0	1.0
7 名古屋市	0.5	3.9	2.3	1.8
8 岡崎市	0.2	5.9	4.3	2.7
9 豊田市	0.2	3.4	1.2	0.1
10 1～9以外の愛知県内	1.4	25.0	6.6	8.4
11 湖西市	0	1.5	1.2	0.7
12 浜松市	0.2	10.8	10.2	5.5
13 11～12以外の静岡県内	0	3.4	3.5	1.8
14 その他の市町村	0	5.4	2.3	1.9
東三河5市（1～6の小計）	97.5	40.7	68.4	77.0
愛知県内（1～10の小計）	99.8	78.9	82.8	90.0
静岡県（11～13の小計）	0.2	15.7	14.8	8.0
愛知県外（11から14の小計）	0.2	21.1	17.1	9.9

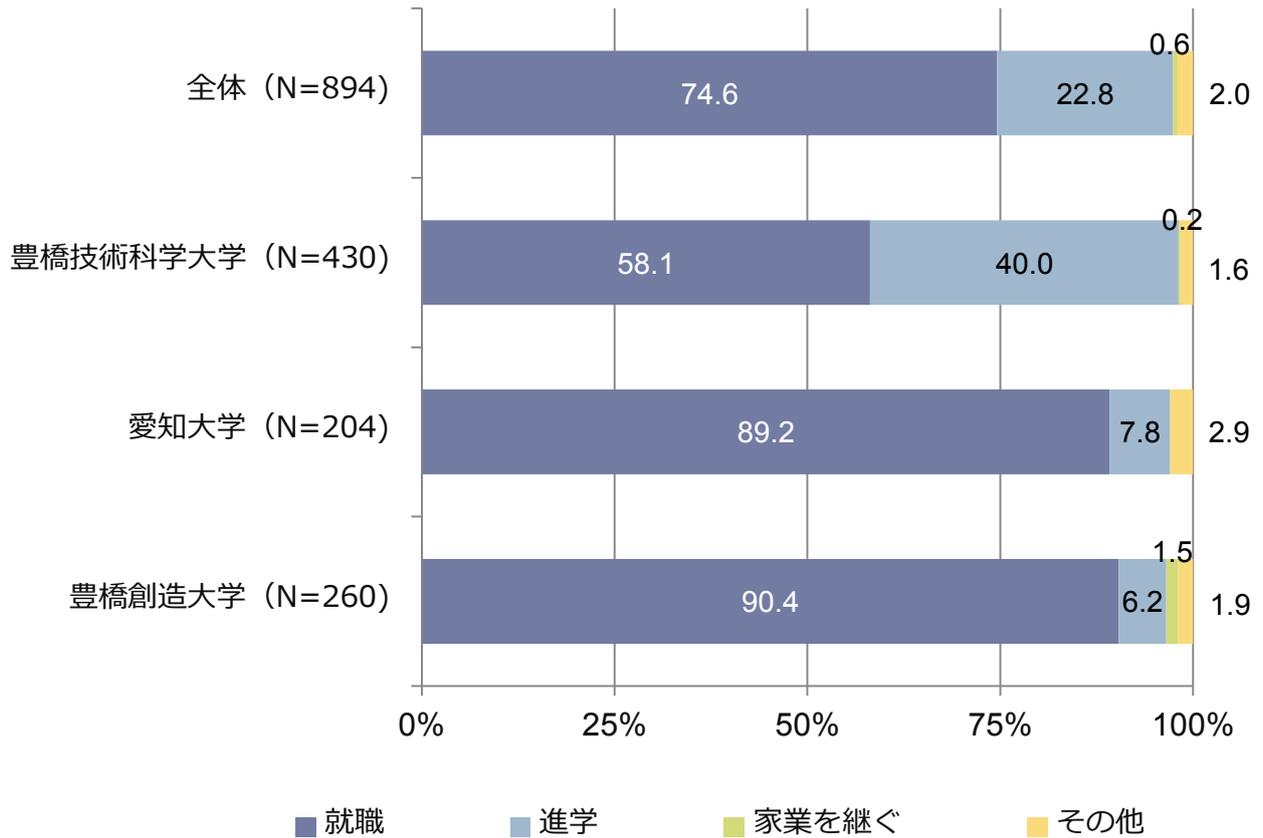
※現在の居住地と居住状況が不明の回答者を除外
単位：%

2. 卒業後の進路と就職活動状況（問7～問15）

（1）卒業後の進路予定（大学別）

- 豊橋技術科学大学の回答者は、大学院への進学が40.0%、就職は58.1%であったが、愛知大学と豊橋創造大学の回答者は約90%が就職であった。

卒業後の進路予定（問7）



(2) 現在の居住地と居住状況（就職予定の学生）

- 豊橋技術科学大学の回答者において、94.8%が豊橋市内に居住していた。また、87.1%は豊橋市内で下宿をしていた。
- 愛知大学の回答者のうち30.7%、豊橋創造大学の回答者のうち52.0%は豊橋市内に居住していた。また、愛知大学の回答者のうち12.6%、豊橋創造大学の回答者のうち15.9%は豊橋市内で下宿していた。
- 愛知大学と豊橋創造大学において、回答者のうち約15%が静岡県に居住していた。

現在の居住地と居住状況（問5、問6）

	豊橋技術科学 大学 (N=248)	愛知大学 (N=182)	豊橋創造大学 (N=233)	就職予定者全体 (N=663)
1 豊橋市・実家	7.7	18.1	36.1	20.5
2 豊橋市・下宿	87.1	12.6	15.9	41.6
3 豊川市	2.0	7.1	8.6	5.7
4 蒲郡市	0.0	1.1	3.4	1.5
5 新城市	0.0	1.1	2.1	1.1
6 田原市	0.4	1.6	2.1	1.4
7 名古屋市	0.8	3.8	2.6	2.3
8 岡崎市	0.4	6.0	3.9	3.2
9 豊田市	0.0	2.7	0.9	1.1
10 1～9以外の愛知県内	1.6	25.8	6.0	9.8
11 湖西市	0.0	1.1	1.3	0.8
12 浜松市	0.0	10.4	10.3	6.5
13 11～12以外の静岡県内	0.0	3.8	3.9	2.4
14 その他の市町村	0.0	4.4	3.0	2.3
豊橋市（1～2の小計）	94.8	30.7	52.0	62.1
東三河5市（1～6の小計）	97.2	41.8	68.2	71.7
愛知県内（1～10の小計）	100.0	80.1	81.6	88.0
静岡県（11～13の小計）	0.0	15.4	15.5	9.7
愛知県外（11～14の小計）	0.0	19.8	18.5	12.0

※現在の居住地と居住状況が不明の回答者を除外
単位：%

(3) 卒業後の勤務予定地（大学別）

- 豊橋技術科学大学の回答者において、4.4%の人が卒業後の勤務予定地が豊橋市であり、44.2%の人は愛知県外が勤務予定地であった。
- 愛知大学の回答者において、14.3%の人が卒業後の勤務予定地が豊橋市であり、24.1%の人は愛知県外が勤務予定地であった。
- 豊橋創造大学の回答者において、30.6%の人が卒業後の勤務予定地が豊橋市であり、28.1%は愛知県外が勤務予定地であった。

卒業後の勤務予定地（問8）

	豊橋技術科学 大学 (N=249)	愛知大学 (N=182)	豊橋創造大学 (N=235)	就職予定者全体 (N=666)
1 豊橋市	4.4	14.3	30.6	16.4
2 豊川市	0.4	2.7	6.4	3.2
3 蒲郡市	0.4	0.6	0.9	0.6
4 新城市	0.0	1.6	1.6	1.0
5 田原市	0.4	1.2	1.6	1.0
6 名古屋市	4.8	12.1	4.3	6.6
7 岡崎市	3.2	1.6	3.8	3.0
8 豊田市	1.6	2.2	0.9	1.5
9 1～8以外の愛知県内	6.4	11.5	8.1	8.4
10 湖西市	0.4	0.6	1.3	0.8
11 浜松市	2.0	10.4	11.5	7.7
12 10～11以外の静岡県内	1.6	4.9	7.7	4.7
13 首都圏	18.1	2.2	1.6	8.0
14 その他の市町村	22.1	6.0	6.0	12.0
15 勤務地未定	34.1	28.0	13.6	25.2
東三河5市（1～5の小計）	5.6	20.4	41.3	22.2
愛知県（1～9の小計）	21.6	47.8	58.2	41.7
静岡県（10～12の小計）	4.0	15.9	20.5	13.2
愛知県外（10～14の小計）	44.2	24.1	28.1	33.2

単位：%

(4) 卒業後の勤務予定地（居住地別）

- 豊橋市（実家）居住者の勤務予定地は、豊橋市61.0%、東三河5市66.9%であり、約7割は東三河5市で勤務予定だった。
- 豊橋市（下宿）居住者の勤務予定地は、豊橋市3.3%、東三河5市5.1%、県外49.0%（うち首都圏15.7%）であり、東三河5市での勤務予定は少数だった。
- 豊橋市を除く東三河4市居住者の勤務予定地は、豊橋市20.3%、東三河5市57.8%であり、約6割は東三河5市で勤務予定だった。
- 東三河5市を除く県内居住者の勤務予定地は、豊橋市1.9%、東三河5市3.7%であり、東三河5市での勤務予定は少数だった。
- 県外居住者の勤務予定地は、豊橋市1.3%、東三河5市1.3%、県外72.1%（うち静岡県60.7%）であり、東三河5市での勤務予定は少数だった。

卒業後の勤務予定地（問8）

	豊橋市・実家 (N=136)	豊橋市・下宿 (N=275)	豊橋市を除く 東三河4市 (N=64)	東三河5市を 除く県内 (N=108)	県外 (N=80)
1 豊橋市	61.0	3.3	20.3	1.9	1.3
2 豊川市	2.2	1.0	21.9	0.9	0.0
3 蒲郡市	0.0	0.4	3.1	0.9	0.0
4 新城市	1.5	0.0	7.8	0.0	0.0
5 田原市	2.2	0.4	4.7	0.0	0.0
6 名古屋市	0.0	6.6	0.0	21.3	3.8
7 岡崎市	3.7	1.0	3.1	7.4	1.3
8 豊田市	0.0	2.2	1.6	2.8	0.0
9 1～8以外の愛知県内	2.9	5.8	4.7	29.6	1.3
10 湖西市	0.7	0.4	0.0	0.0	3.8
11 浜松市	1.5	4.0	3.1	2.8	41.8
12 10～11以外の静岡県内	0.0	6.6	1.6	0.0	15.2
13 首都圏	3.7	15.7	0.0	2.8	2.5
14 その他の市町村	4.4	22.3	1.6	2.8	8.9
15 勤務地未定	16.2	30.3	26.6	26.9	20.3
東三河5市（1～5の小計）	66.9	5.1	57.8	3.7	1.3
愛知県（1～9の小計）	73.5	20.7	67.2	64.8	7.6
静岡県（10～12の小計）	2.2	11.0	4.7	2.8	60.7
愛知県外（10～14の小計）	10.3	49.0	6.3	8.4	72.1

単位：%

(5) 卒業後の居住予定（就職予定の学生）

- 現在実家に居住する学生のうち、卒業後も実家に居住する予定の学生は66.9%、実家を出て下宿予定の学生は10.6%であった。豊橋市の実家に居住する学生もほぼ同様の傾向であった。
- 現在下宿している学生のうち、実家に戻る（Uターン）予定の学生は12.9%であった。

卒業後の居住予定（問9）

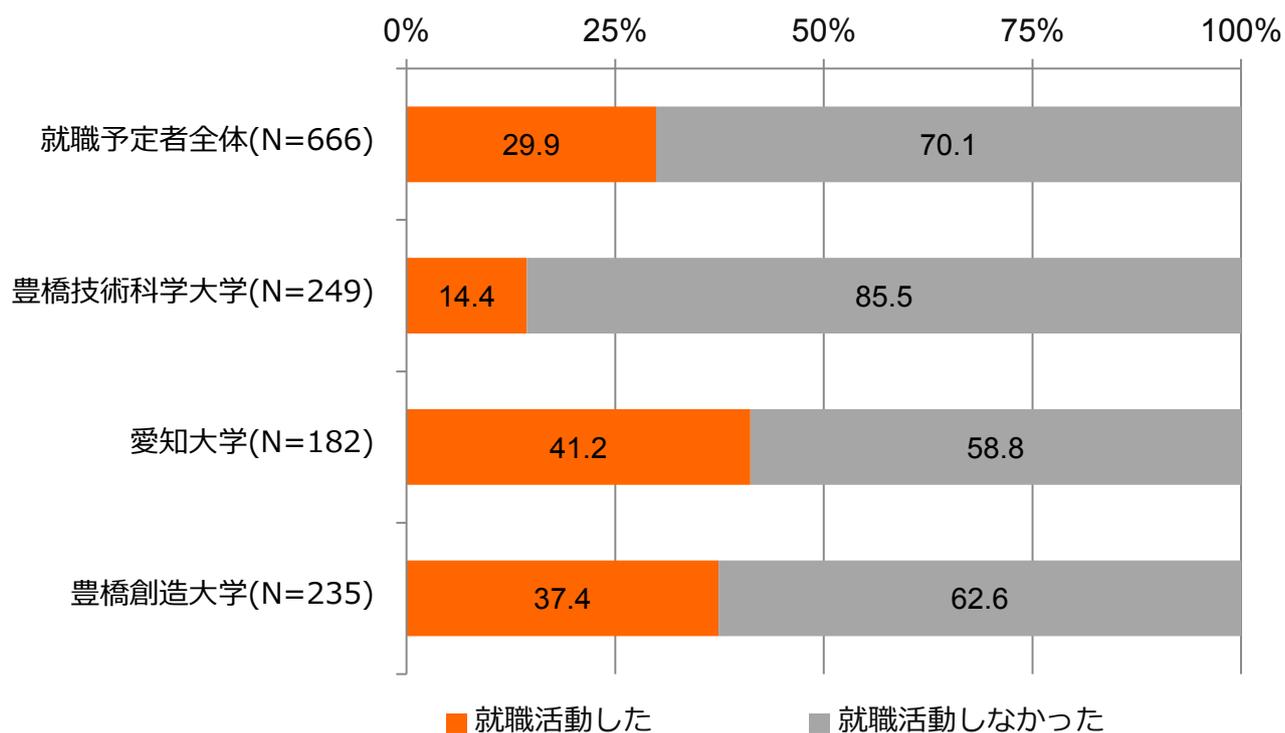
		卒業後の居住予定		
		実家	下宿	現時点で未定
現在の 居住状況	実家（N=378）	66.9	10.6	22.5
	豊橋市・実家（N=136）	68.4	11.8	19.9
	下宿（N=279）	12.9	54.4	32.6
	その他（N=2）	50.0	0.0	50.0

単位：%

(6) 市内企業等への就職活動状況 (大学別)

- 愛知大学の回答者の41.2%、豊橋創造大学の回答者の37.4%が市内企業等に就職活動を行った一方、豊橋技術科学大学において市内企業等に就職活動を行った回答者は14.4%にとどまった。

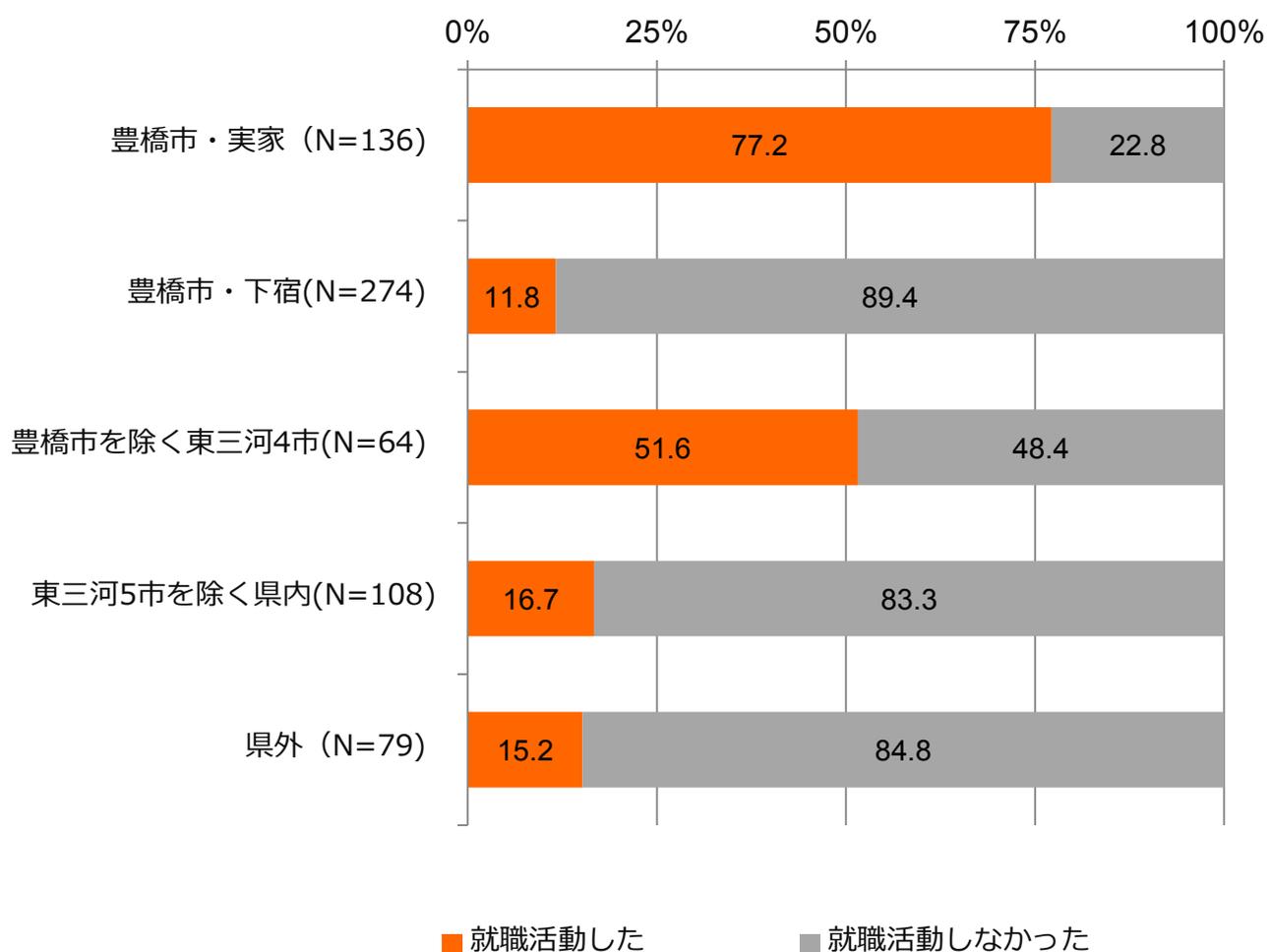
市内企業等への就職活動について (問10)



(7) 市内企業等への就職活動状況（居住地別）

- 豊橋市（実家）居住者の77.2%、豊橋市を除く東三河4市居住者の51.6%が市内企業等に就職活動を行った一方、東三河5市を除く県内居住者では16.7%、県外居住者では15.2%、豊橋市（下宿）居住者では11.8%にとどまった。

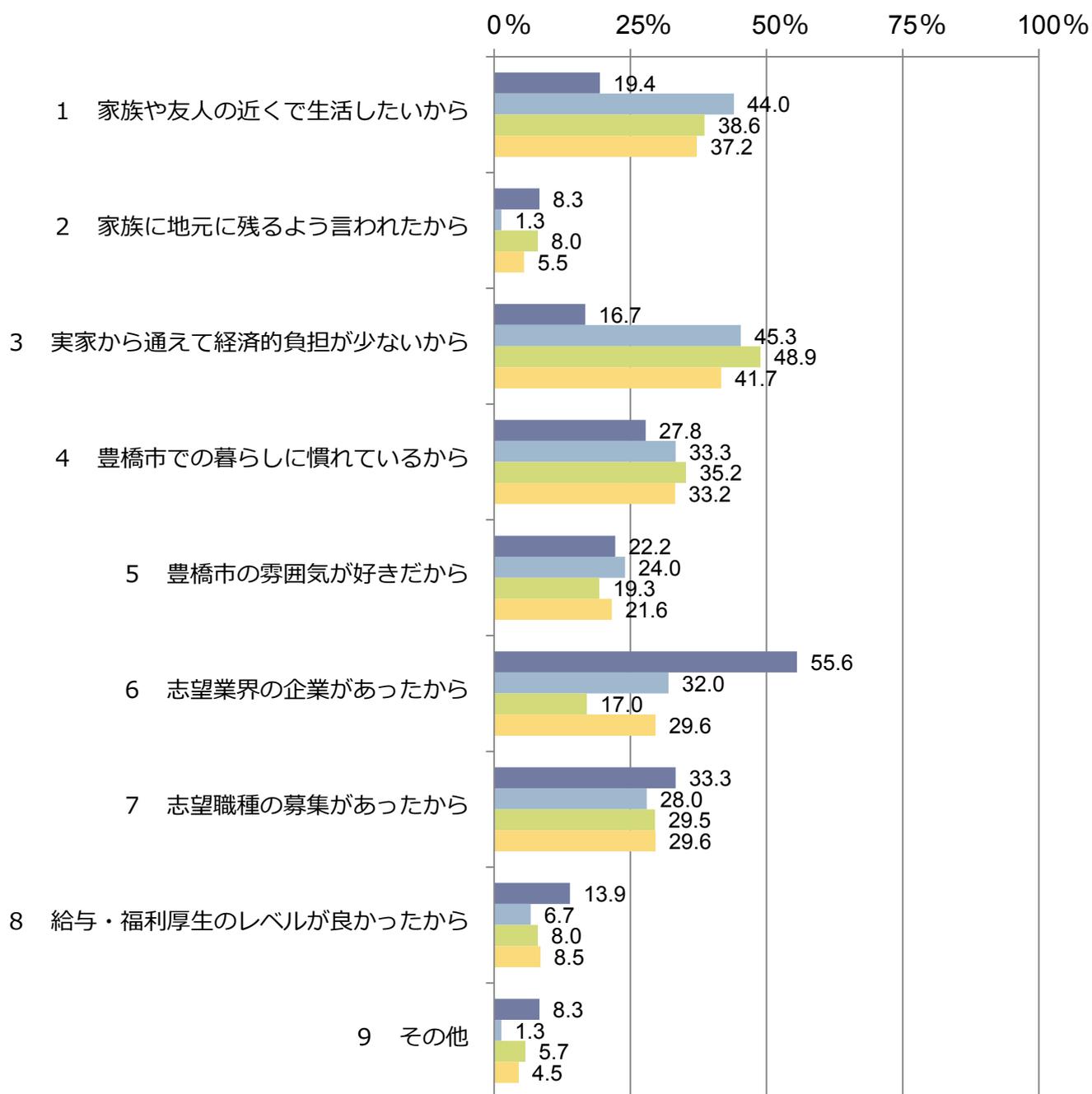
市内企業等への就職活動について（問10）



(8) 市内企業等に就職活動を行った理由（大学別）

- 豊橋技術科学大学の回答者において、市内企業等に就職活動を行った理由として多く選ばれたのは、“志望業界の企業があったから”、“志望職種の募集があったから”など、仕事志向に関するものであった。
- 愛知大学と豊橋創造大学の回答者において多く選ばれたのは、“実家から通えて経済的負担が少ないから”、“家族や友人の近くで生活したいから”など、地元志向に関するものであった。

市内企業等に就職活動を行った理由（問11）※複数回答

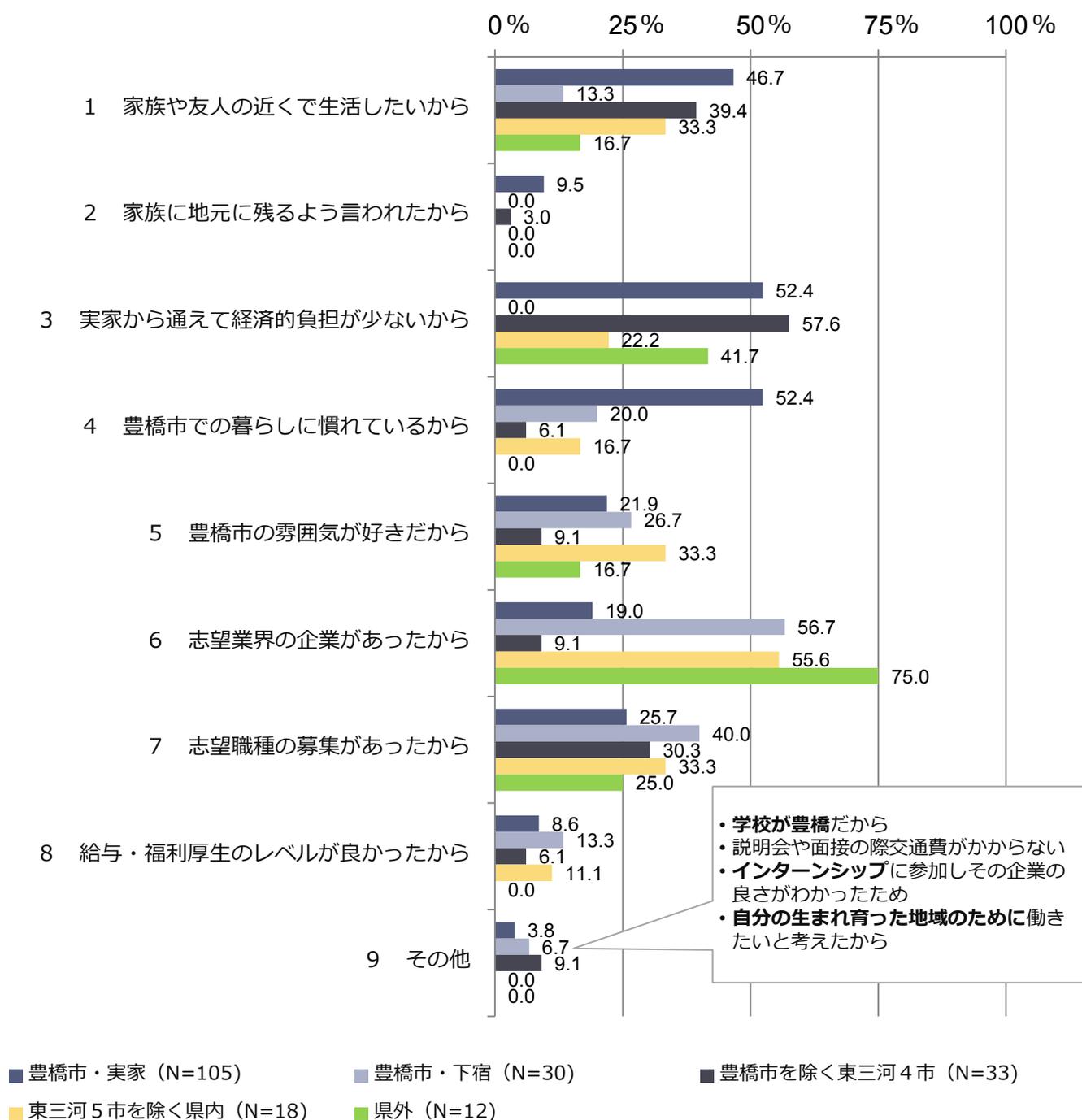


■ 豊橋技術科学大学(N=36) ■ 愛知大学(N=75) ■ 豊橋創造大学(N=88) ■ 合計(N=199)

(9) 市内企業等に就職活動を行った理由（居住地別）

- 豊橋市（実家）居住者と豊橋市を除く東三河4市居住者において、市内企業等に就職活動をした理由として多く選ばれたのは、“家族や友人の近くで生活したいから”、“実家から通えて経済的負担が少ないから”といった、地元志向に関するものであった。
- 豊橋市（下宿）居住者、東三河5市を除く県内居住者および県外居住者において多く選ばれたのは、“志望業界の企業があったから”といった、仕事志向に関するものであった。

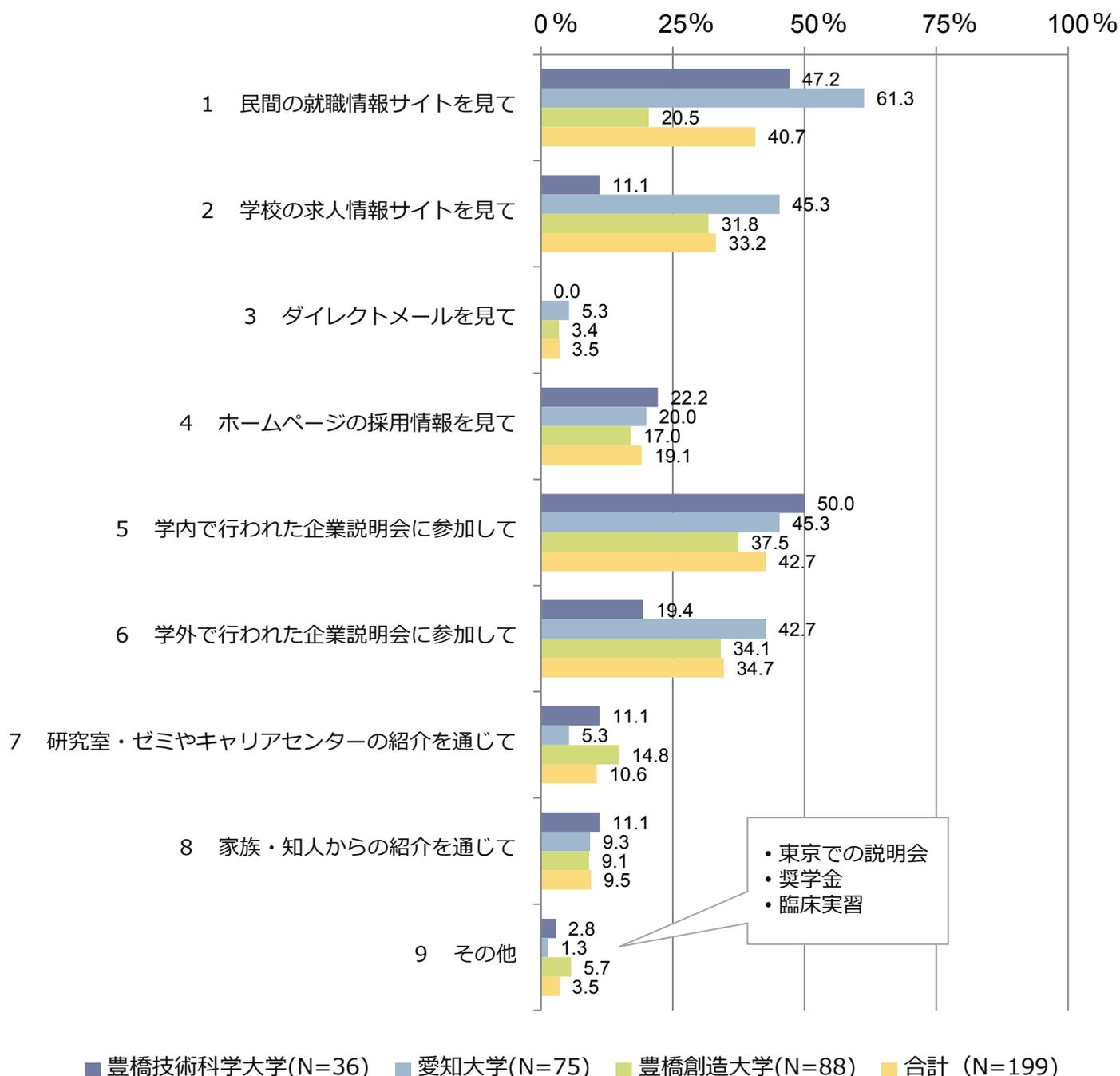
市内企業等に就職活動を行った理由（問11）※複数回答



(10) 市内企業等の採用情報入手経路（大学別）

- 豊橋技術科学大学の回答者は、市内企業等の採用情報を、学内で行われた企業説明会や民間の就職情報サイトを通じて入手した割合が高かった。
- 愛知大学の回答者は、民間の就職情報サイト、学内外で行われた企業説明会や学校の求人情報サイトなど、様々な手段を通じて採用情報を入手していた。
- 豊橋創造大学の回答者は、学内外で行われた企業説明会や学校の求人情報サイトを通じて採用情報を入手した割合が高かった。また、豊橋技術科学大学、愛知大学と比べて民間の就職情報を通じて入手した割合が低かった。

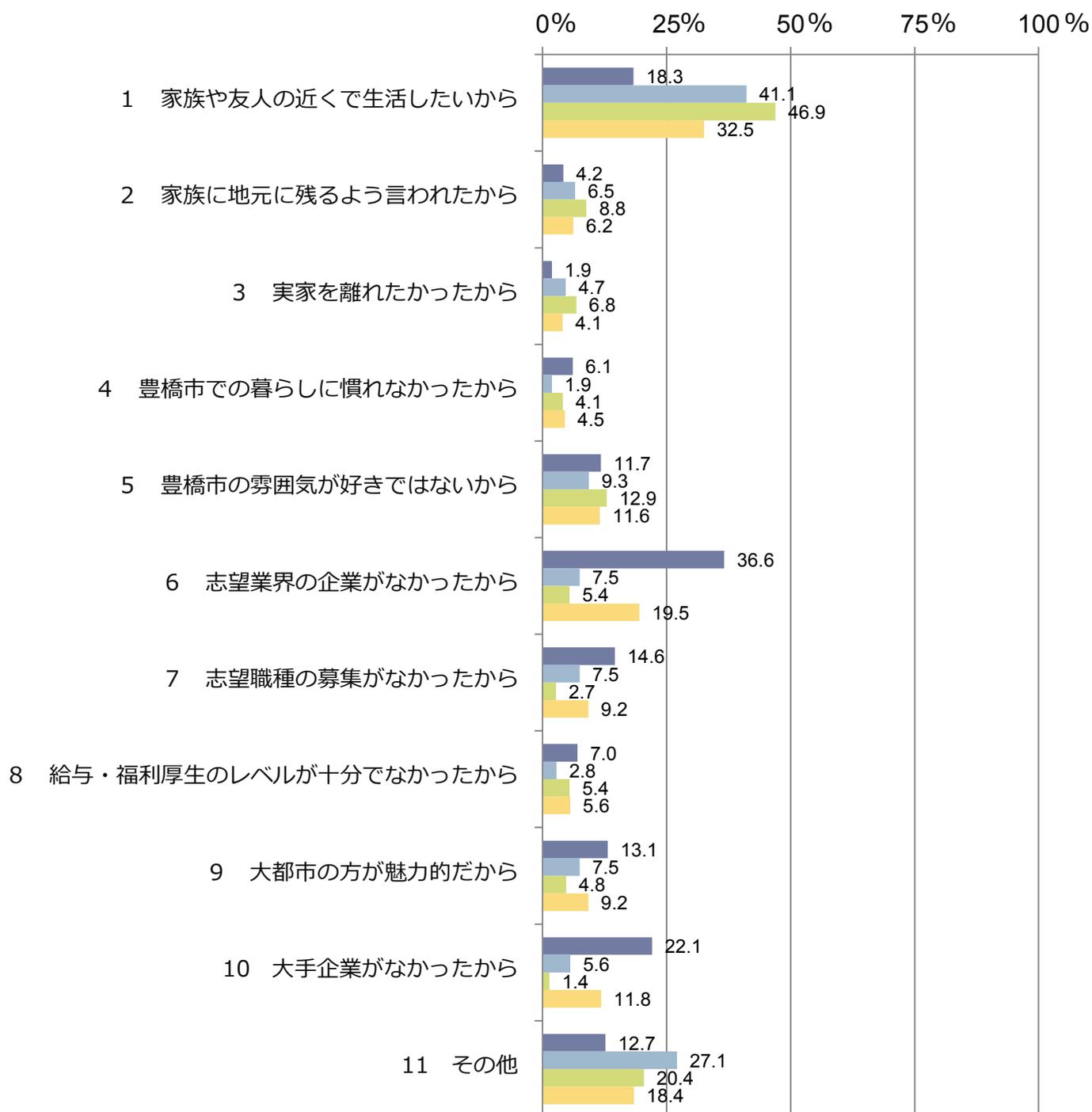
市内企業等の採用情報をどのようにして知ったか（問12） ※複数回答



(11) 市内企業等に就職活動を行わなかった理由（大学別）

- 豊橋技術科学大学の回答者は、“志望業界の企業がなかったから”、“大手企業がなかったから”が高く、仕事志向に加えて大企業志向が伺える。
- 愛知大学と豊橋創造大学の回答者は、“家族や友人の近くで生活したいから”が高く、地元志向の強さが伺える。

市内企業等に就職活動を行わなかった理由（問14）※複数回答

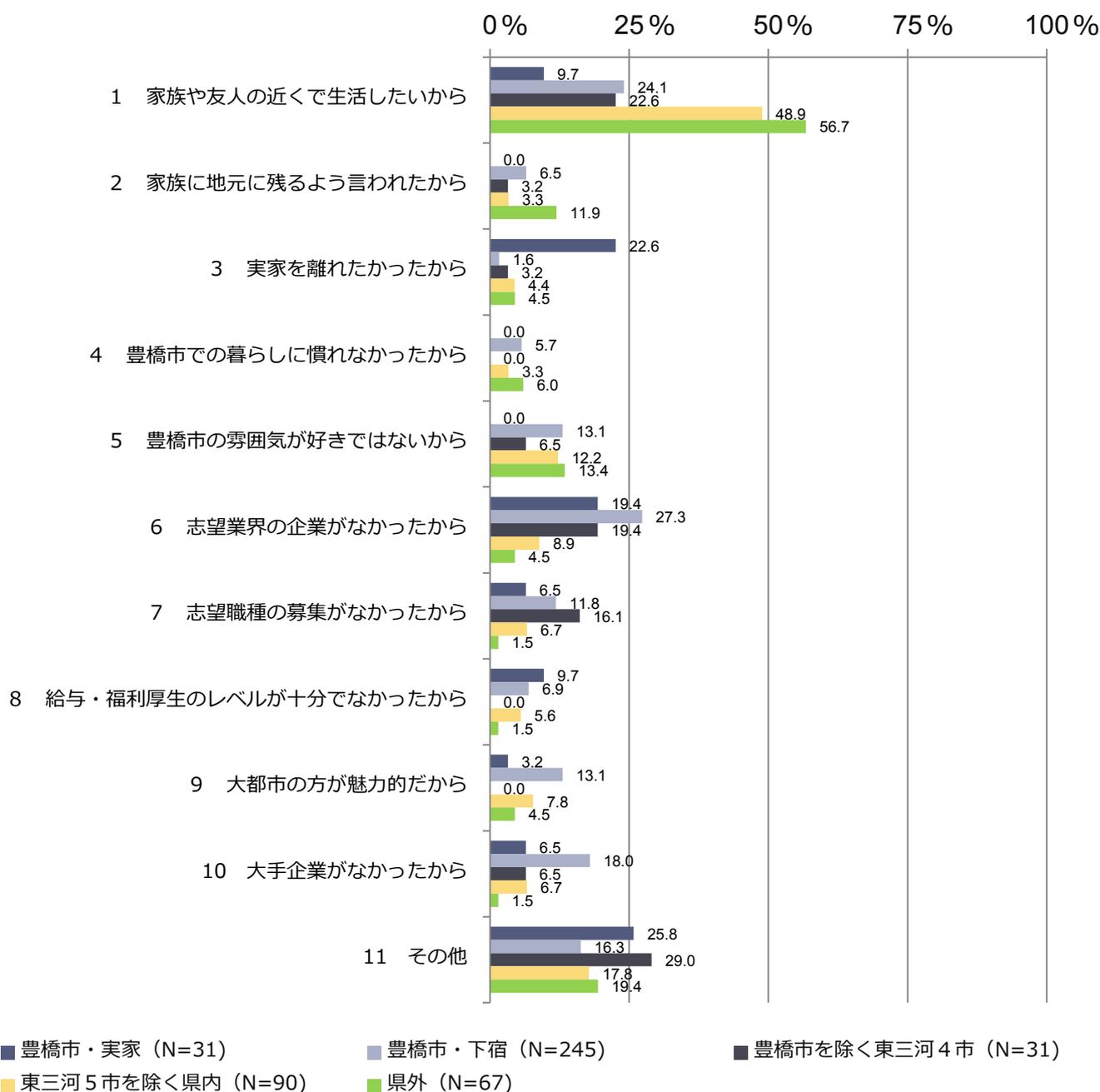


■ 豊橋技術科学大学(N=213) ■ 愛知大学(N=107) ■ 豊橋創造大学(n=147) ■ 合計 (N=467)

(12) 市内企業等に就職活動を行わなかった理由（居住地別）

- 豊橋市（実家）居住者において、市内企業等に就職活動をしなかった理由として多く選ばれたのは、“実家を離れたかったから”と“志望業界の企業がなかったから”であった。
- 豊橋市（下宿）居住者において、就職活動をしなかった理由として多く選ばれたのは、“志望業界の企業がなかったから”、“大手企業がなかったから”に加えて、“家族や友人の近くで生活したいから”（Uターン）であった。
- 豊橋市を除く東三河4市居住者、東三河5市を除く県内居住者や県外居住者において多く選ばれたのは、“家族や友人の近くで生活したいから”であった。

市内企業等に就職活動を行わなかった理由（問14）※複数回答



(13) 市内企業等に就職活動を行わなかった理由（その他）

- その他で多かった理由としては、自分の地元に残りたい、帰りたいや、志望企業が豊橋市にないことであった。

市内企業等に就職活動を行わなかった理由 主な自由回答（問14）

自分の地元に残りたい、帰りたい：21件

- ・ 地元が好きだから
- ・ 地元で就職をしたかったため
- ・ 実家から通える所しか考えてなかったので、三重か名古屋に絞っていた
- ・ 地元に戻りたかったから
- ・ 地元浜松に貢献したかったから
- ・ 遠く将来の介護等を考えた

志望する企業が豊橋市になかった：18件

- ・ 第一志望の企業が名古屋にあった
- ・ 教員を志望しており市単位での募集はなかったため
- ・ 志望業界の密集しているのが首都圏なので
- ・ 自分が入りたいと思った施設がたまたま豊橋ではなかった
- ・ 魅力的な企業はあったが、それ以上に志望度の高い企業に早い段階で内定を頂いたため
- ・ 就職したいと思う病院がなかったから

進学をするため：9件

特に理由はない：7件

豊橋市への通勤が困難：3件

その他：23件

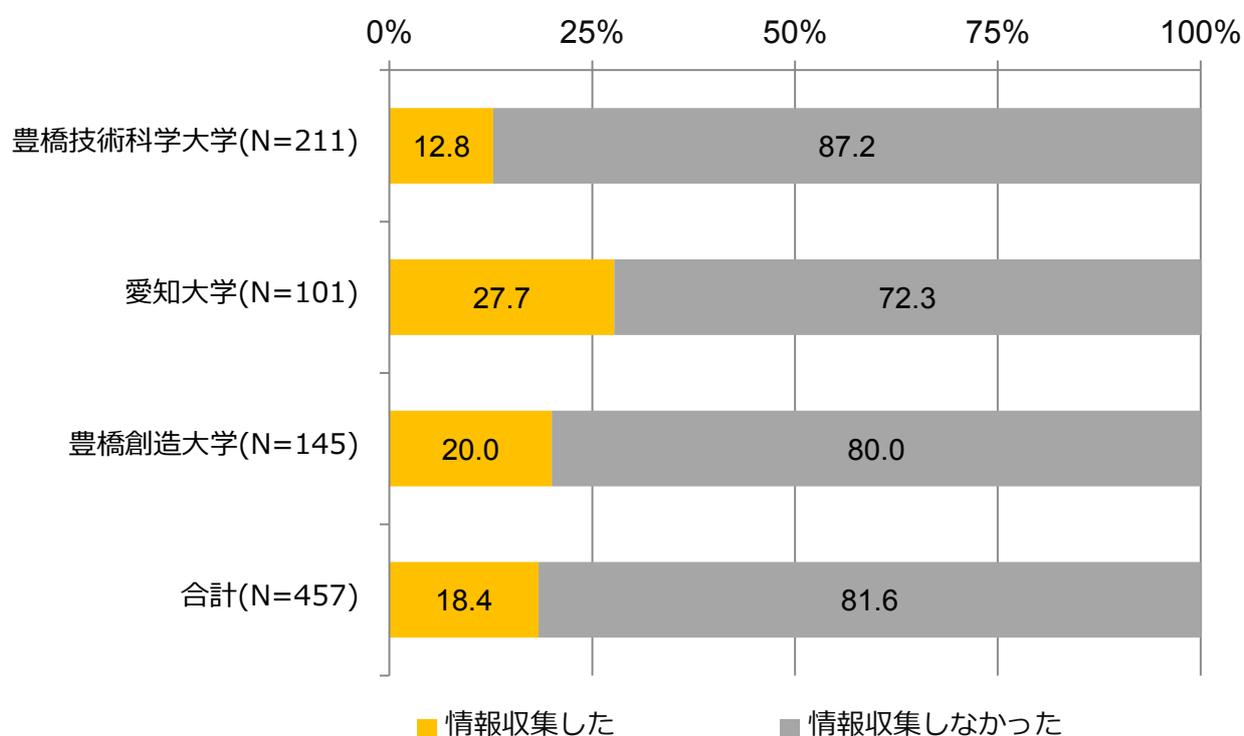
- ・ 愛知県の採用試験を受けたため
- ・ 教員採用試験のため
- ・ スケジュールが合わなかったから
- ・ 奨学金を地元で借りていたから
- ・ 地域で限定せず就活を行っており、たまたま豊橋市内の企業に就活することが無かった
- ・ 色々な場所に住み、様々な文化に触れたかったから
- ・ 県外に知り合いがいて、もう一度やり直せる環境にあったため
- ・ そこまで愛着がなかったため
- ・ 一生豊橋に住むのは嫌だから
- ・ 豊橋では生活が不便

(14) 市内企業等の採用情報収集について（大学別）

（※市内企業に就職活動しなかった学生を対象）

- 豊橋技術科学大学の回答者において、市内企業等への就職活動を行わなかったが採用情報の収集を行った割合は12.8%であった一方、愛知大学の回答者では27.7%、豊橋創造大学の回答者では20.0%であった。

市内企業等の採用情報収集の状況（問13）

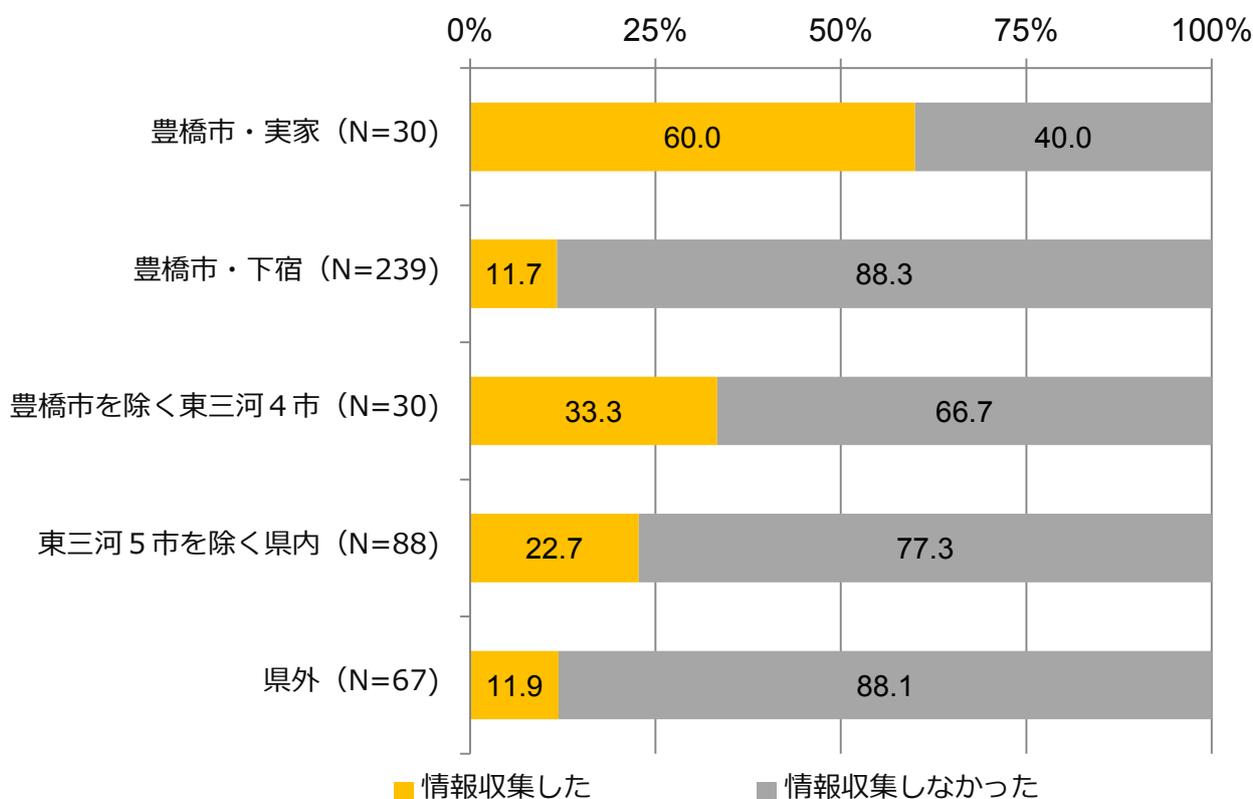


(15) 市内企業等の採用情報収集について（居住地別）

（※市内企業に就職活動しなかった学生を対象）

- 豊橋市（実家）居住者において、市内企業等への就職活動を行わなかったが採用情報の収集を行った割合は60.0%であった一方、豊橋市（下宿）居住者では11.7%、県外居住者では11.9%にとどまった。

市内企業等の採用情報収集の状況（問13）



(16) 市内に少ないと感じた業界や職種（自由回答-1）

- 豊橋技術科学大学、豊橋創造大学の学生は、大学で学んだことが直接生かせる業界、業種や職種の採用が少ないと感じていた。

市内に少ないと感じた業界や職種（問15）

代表的なアンケート回答：豊橋技術科学大学

業界、業種について

- ・ 自動車など輸送機器：23件
 - 自動車のうち完成車メーカー
- ・ 自動車以外の輸送機器：2件
 - 鉄道関係
- ・ 工作機械などの機械：6件
- ・ 化学：4件
- ・ 素材・材料：3件
- ・ プラントエンジニアリング：3名
- ・ 精密機器：3件
- ・ 医療機器：2件
- ・ 半導体：2件
- ・ エネルギー・電力：2件
- ・ IT：2件
- ・ その他：7件
 - 建設コンサルタント
 - ゼネコン造船
 - ゲーム関連

職種について

- ・ 研究・開発職：9件
- ・ 技術系：2件
- ・ デザイン：1件

業界、業種、職種以外について

- ・ メーカー、特に大手企業の関連会社が少ないと感じた
- ・ 大手企業もしくは本社が無い
- ・ ベンチャー企業、何か新しいことを始めて世界を変える気がある企業
- ・ 研究内容を生かして活躍できる企業
- ・ 外国人採用は少ない

(17) 市内に少ないと感じた業界、業種や職種（自由回答-2）

- 愛知大学の学生は、旅行・インテリア・化粧品販売・映像制作など生活の余裕を生み出す商品・サービスを扱う業界、業種の採用が少ないと感じていた。

市内に少ないと感じた業界や職種（問15）

代表的なアンケート回答：愛知大学

業界、業種について

- ・ コンサルティング・シンクタンク：2件
- ・ 化粧品関連：2件
- ・ 旅行業：2件
 - 旅行業界の企画系の職種
- ・ その他：住宅インテリア関連、IT、証券業界の大会社、映像制作

代表的なアンケート回答：豊橋創造大学

業界、業種について

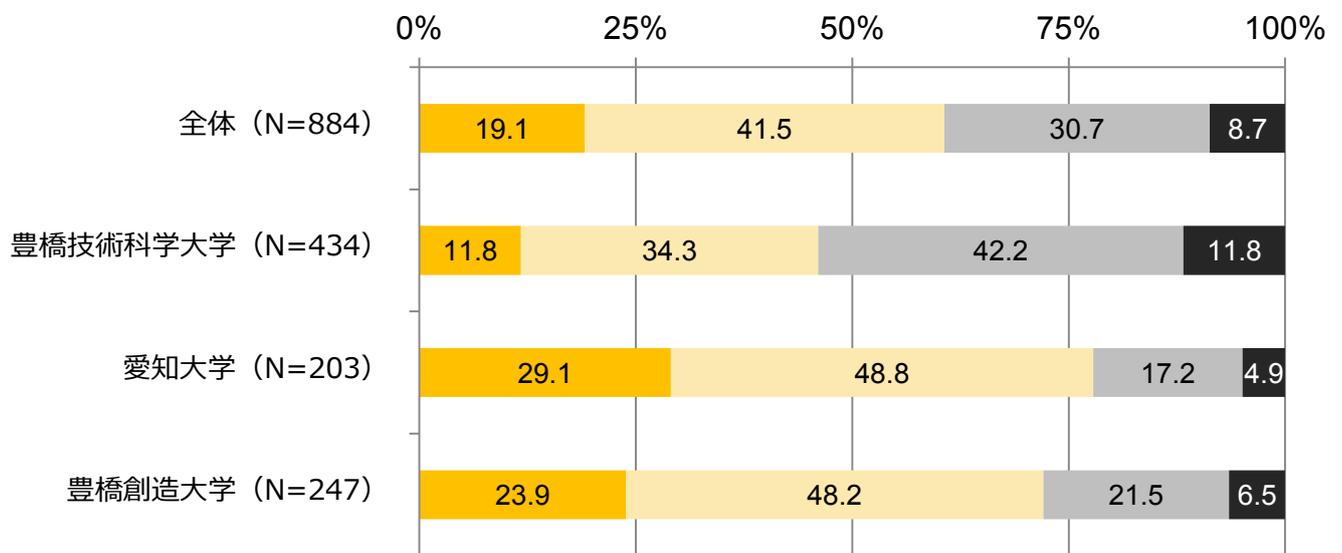
- ・ 医療：2件
 - 医療系ではクリニックが多く、病院は回復期が少なかったから
- ・ 調理・栄養関連：3件
 - 調理師の募集がチェーン店しかない
 - 給食センター
- ・ 食品：1件
- ・ 福祉：1件
 - 障害者の就労支援施設が無かった。あっても家から遠い

3. 住みやすさに関する評価と定住意向（問16～問21）

（1）豊橋市の住みやすさに関する評価（大学別）

- 豊橋技術科学大学の回答者において、“住みやすいと感じる”または“まあまあ住みやすいと感じる”と回答した割合は46.1%であった。
- 愛知大学と豊橋創造大学の回答者において、“住みやすいと感じる”または“まあまあ住みやすいと感じる”と回答した割合が、愛知大学77.9%、豊橋創造大学72.1%と70%以上であった。

豊橋市はどの程度住みやすいと感じますか（問16）

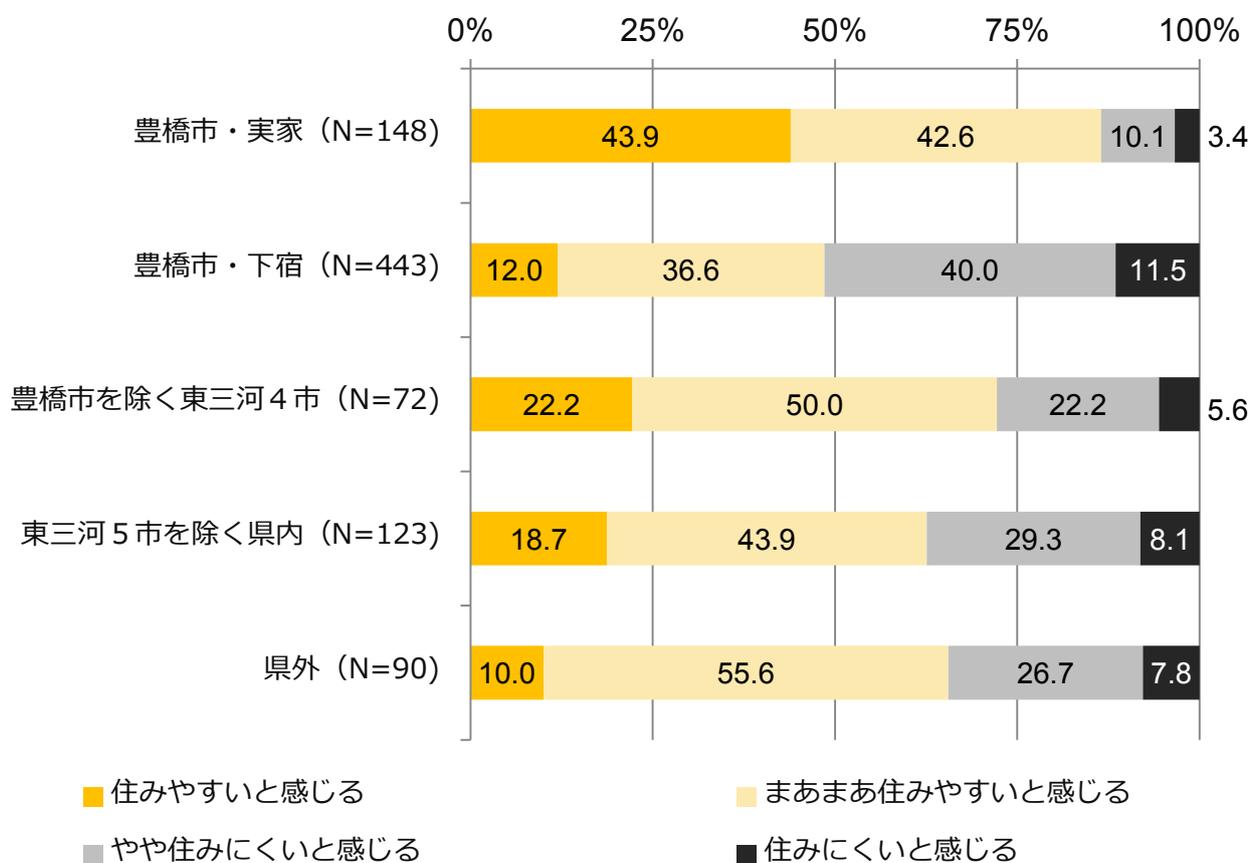


■ 住みやすいと感じる ■ まあまあ住みやすいと感じる ■ やや住みにくいと感じる ■ 住みにくいと感じる

(2) 豊橋市の住みやすさに関する評価（居住地別）

- 豊橋市（実家）居住者において、“住みやすいと感じる”または“まあまあ住みやすいと感じる”と回答した割合は86.5%で、区分中最も高かった一方、豊橋市（下宿）居住者において、“住みやすいと感じる”または“まあまあ住みやすいと感じる”と回答した割合が48.6%で、区分中最も低かった。

豊橋市はどの程度住みやすいと感じますか（問16）

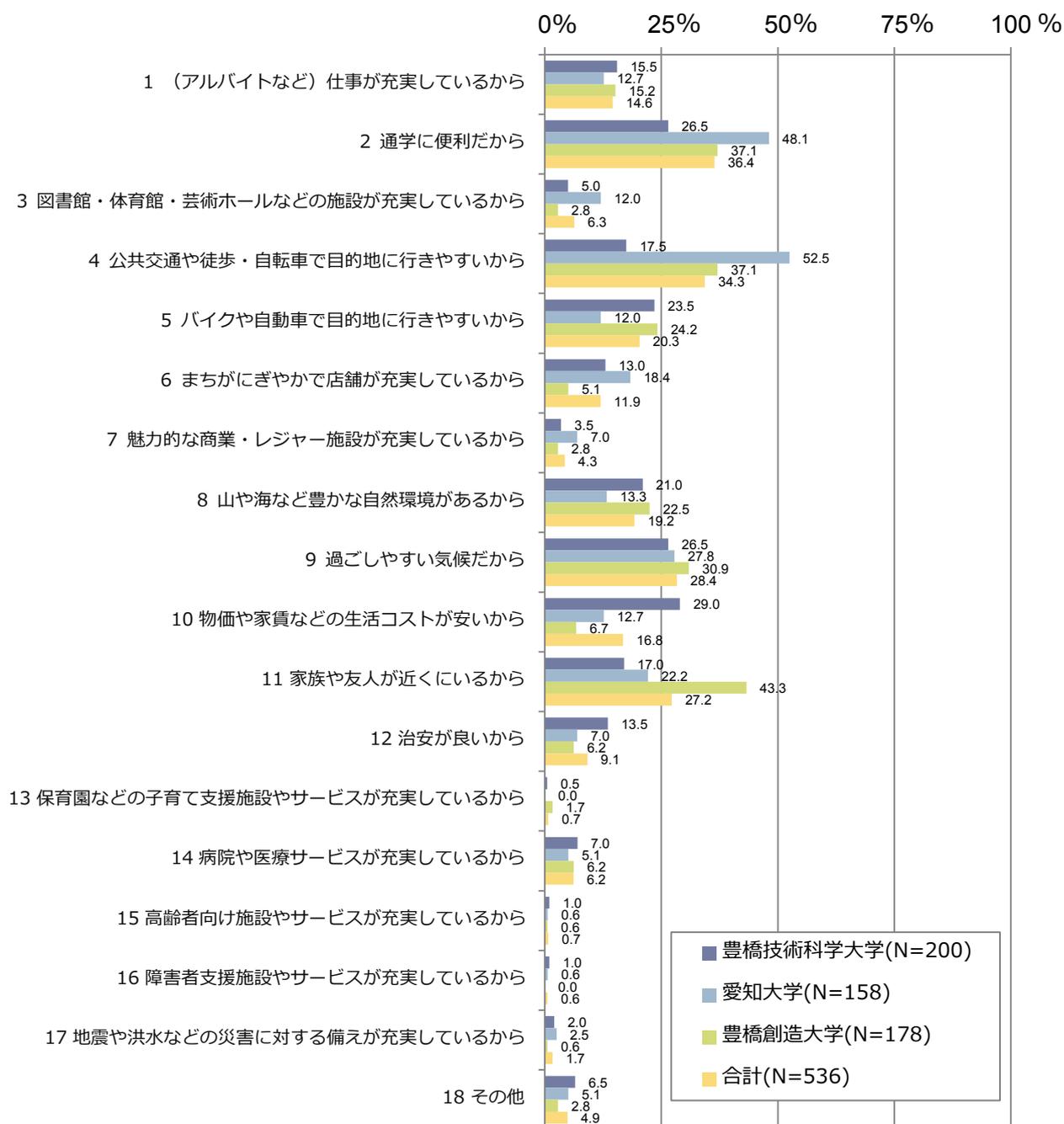


(3) 住みやすいと感じる理由（大学別）

（※住みやすい・まあまあ住みやすいと回答した人のみ）

- 豊橋技術科学大学の回答者における上位3項目は、“物価や家賃などの生活コストが安いから”、“過ごしやすい気候だから”、“通学に便利だから”であった。
- 愛知大学の回答者における上位3項目は、“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすいから”、“通学に便利だから”、“過ごしやすい気候だから”であった。
- 豊橋創造大学の回答者における上位3項目は、“家族や友人が近くにいるから”、“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすいから”、“通学に便利だから”であった。

豊橋市が住みやすいと感じる理由（問17）※複数回答

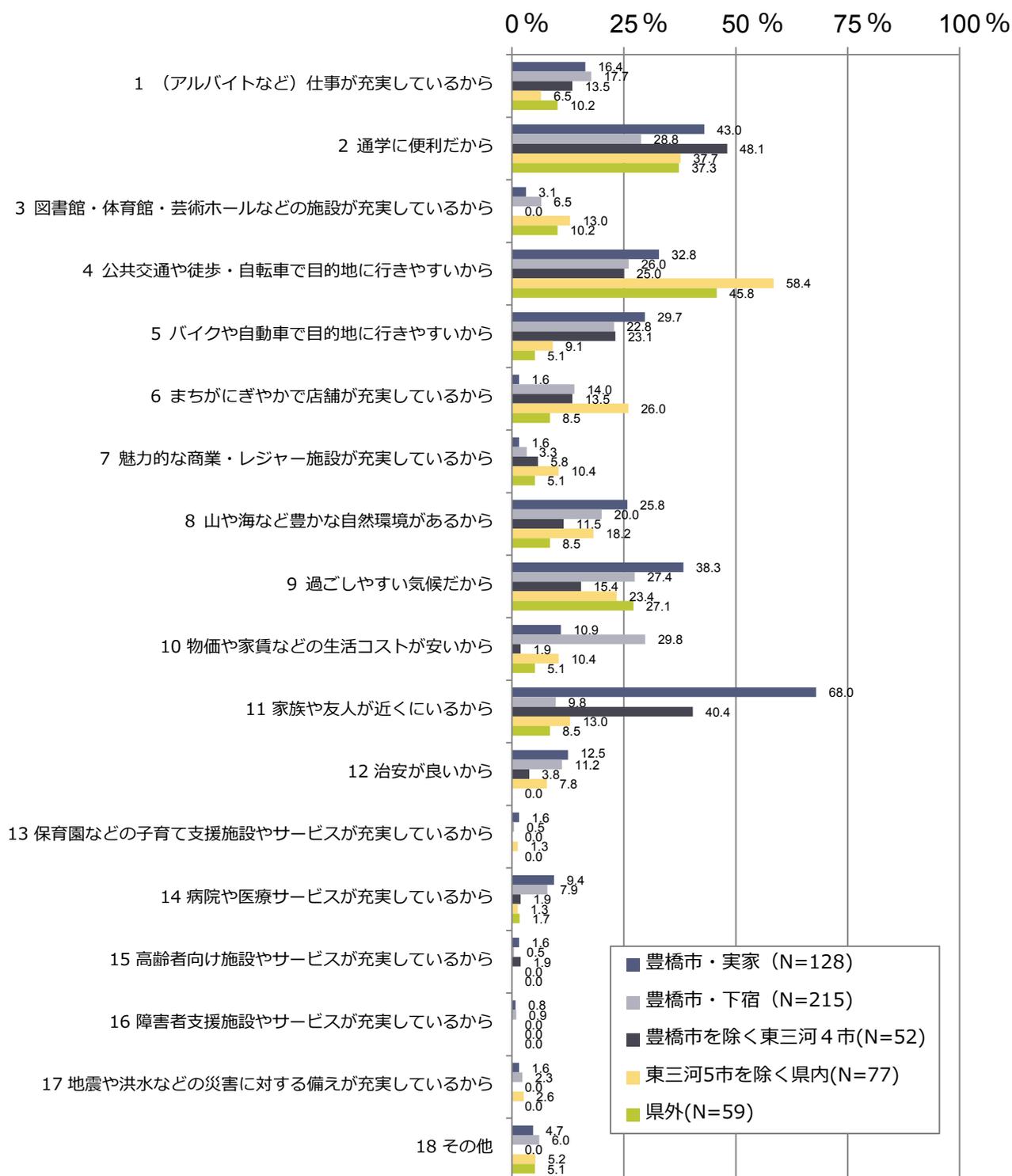


(4) 住みやすいと感じる理由（居住地別）

（※住みやすい・まあまあ住みやすいと回答した人のみ）

- 豊橋市（実家）居住者と豊橋市を除く東三河4市居住者において多く選ばれたのは、“家族や友人が近くにいるから”と“通学に便利だから”であった一方、東三河5市を除く県内居住者と県外居住者で最も多く選ばれたのは“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすいから”であった。
- 豊橋市（下宿）居住者において最も多く選ばれたのは、“物価や家賃などの生活コストが安いから”であった。

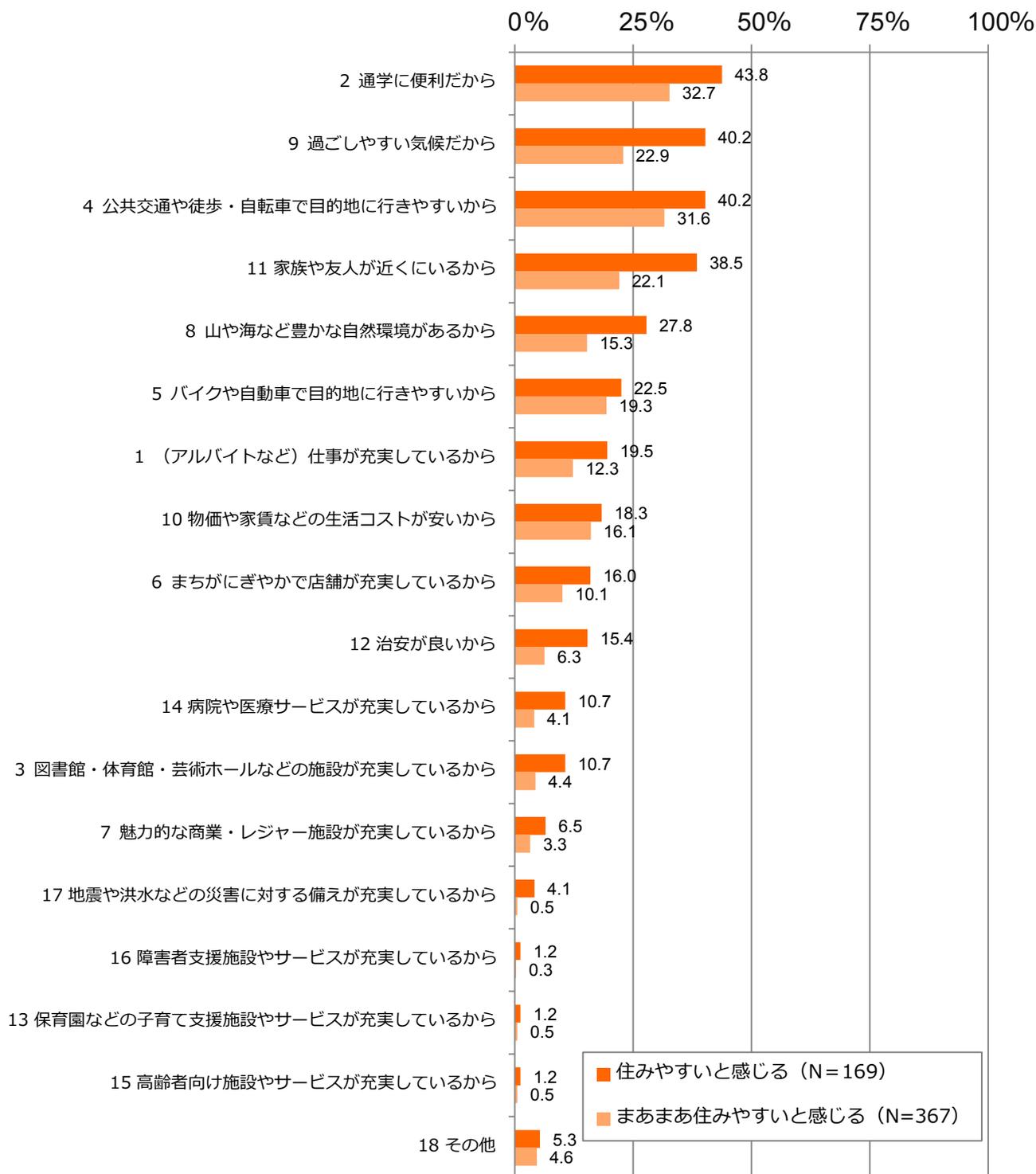
豊橋市が住みやすいと感じる理由（問17）※複数回答



(5) 住みやすいと感じる理由（住みやすさ評価別）

- 住みやすいと感じる回答者は、まあまあ住みやすいと感じる回答者と比べて、“通学に便利だから”、“過ごしやすい気候だから”、“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすいから”を住みやすいと感じる理由に選ぶ割合が高かった。

豊橋市が住みやすいと感じる理由（問17）※複数回答



※“住みやすいと感じる”回答者のうち、割合が多い項目順に並べ替え

(6) 住みやすいと感じる理由（その他）

- その他の自由回答からは、都会過ぎず、田舎過ぎず、何でも揃うことが評価されていた。
- また、豊橋駅のアクセスの良さ（JR・新幹線・名鉄）や食材や食事の質の高さも評価されていた。

豊橋市が住みやすいと感じる理由 主な自由回答（問17）

便利である：6件

- ・ 都会過ぎず、田舎過ぎず飲食店など商業的な施設が充実しているから
- ・ 路面電車が便利
- ・ 無難になんでもあるため

新幹線が停まる：5件

- ・ 駅が大きくJR、名鉄、新幹線の駅があるから
- ・ 新幹線が止まり、遠くにアクセスしやすい

食材が良い：2件

- ・ 野菜や果物などの農作物が美味しいから また安いから
- ・ 地元にはない飲食店が多く、食事が楽しい

静かである：2件

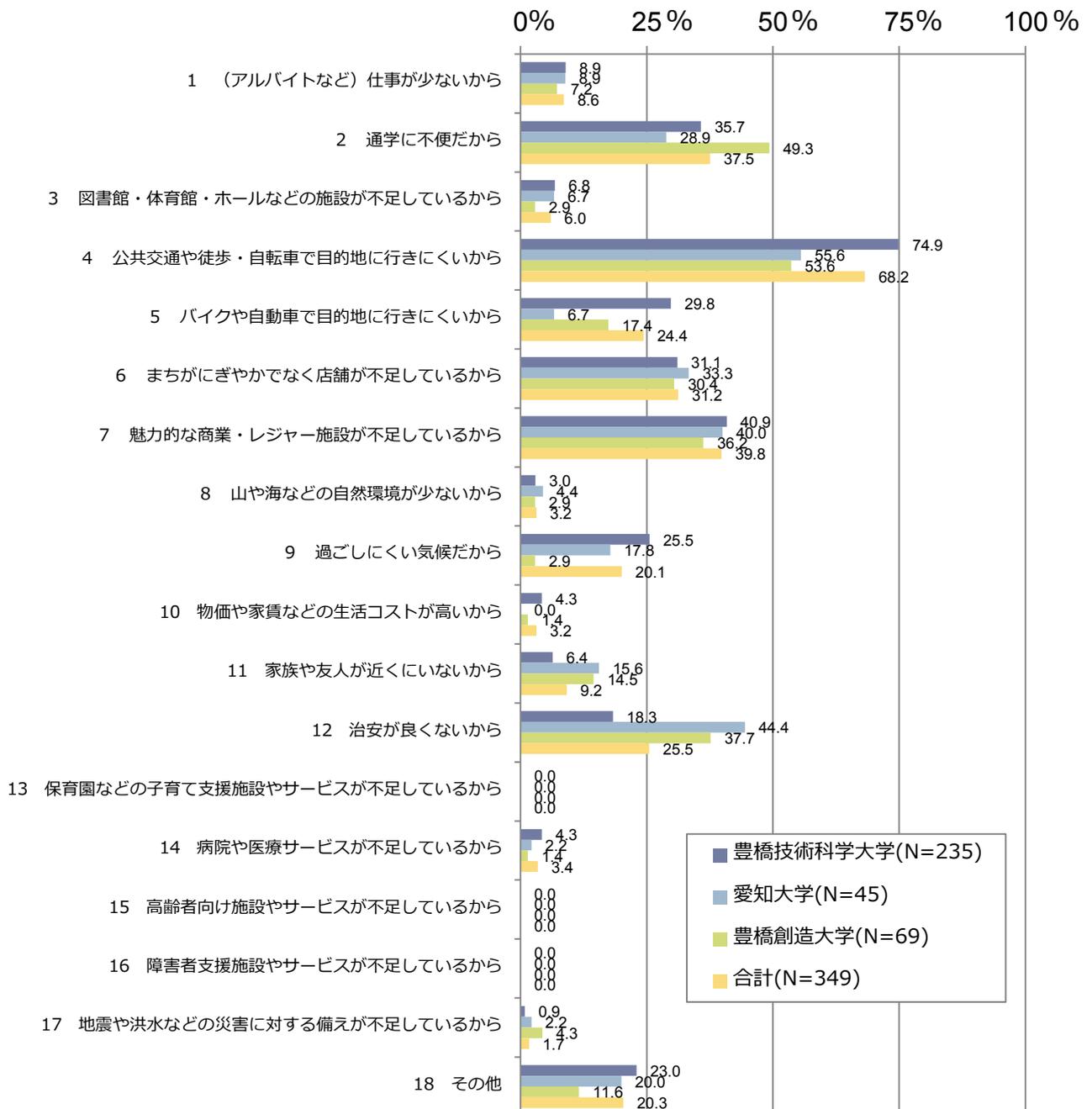
その他：8件

- ・ “都田舎”だから
- ・ 生まれも育ちもずっと豊橋で好きだから
- ・ 普通だから
- ・ サーフィンができる
- ・ 都会を好まないから
- ・ 栄えている駅前と閑静な住宅地が入り混じっているから
- ・ ほどよく田舎

(7) 住みにくいと感ずる理由 (大学別)

- 豊橋技術科学大学の回答者における上位3項目は、“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きにくいから”、“魅力的な商業・レジャー施設が不足しているから”、“通学に不便だから”であった。
- 愛知大学の回答者における上位3項目は、“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きにくいから”、“治安が良くないから”、“魅力的な商業・レジャー施設が不足しているから”であった。
- 豊橋創造大学の回答者における上位3項目は、“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きにくいから”、“通学に不便だから”、“治安が良くないから”であった。

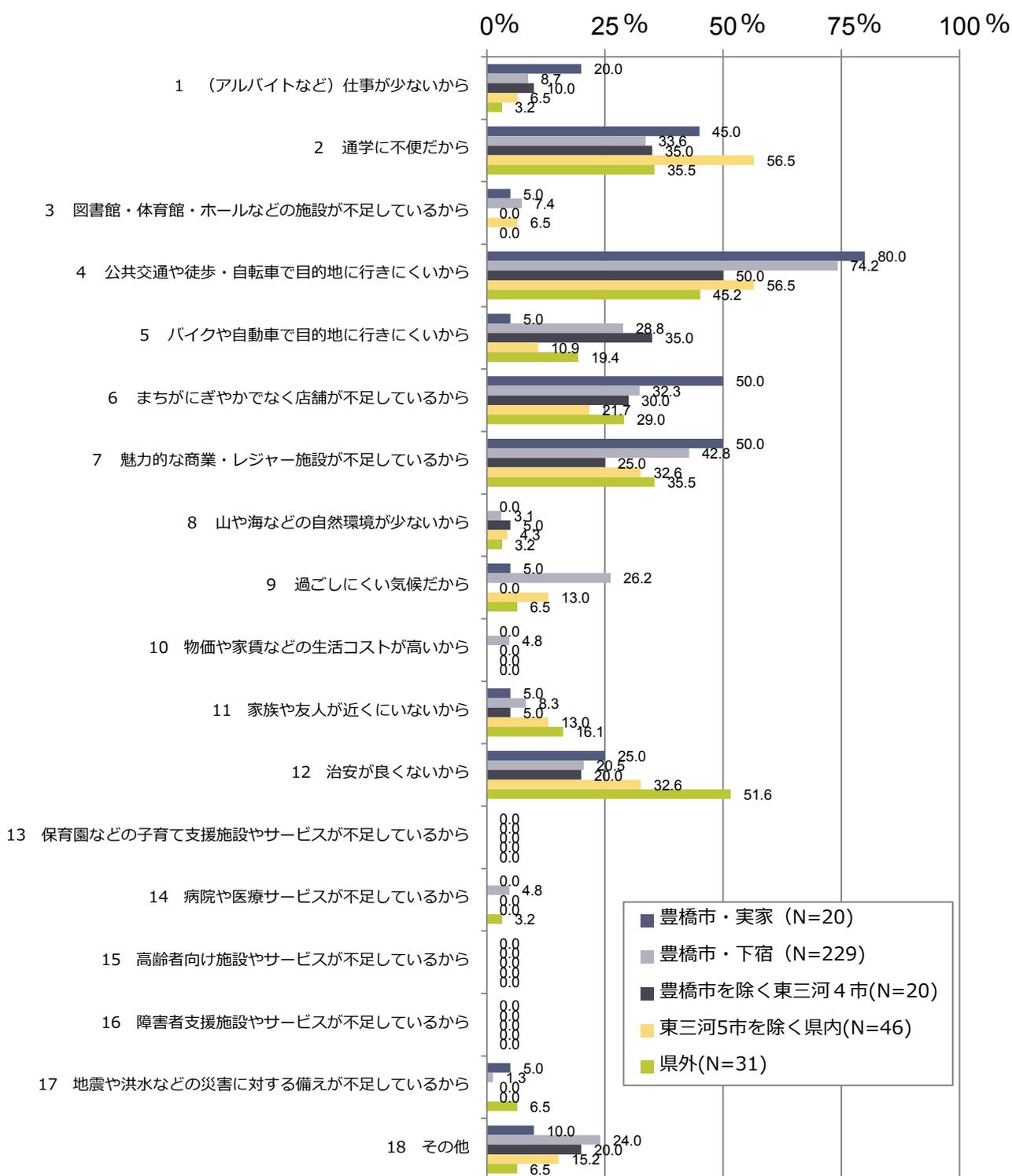
豊橋市が住みにくいと感ずる理由 (問18) ※複数回答



(8) 住みにくいと感ずる理由 (居住地別)

- 県外居住者以外で最も多く選ばれたのは、“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きにくいから”であった一方、県外居住者において最も多く選ばれたのは、“治安が良くないから”であった。
- 豊橋市（実家）居住者は、他区分の回答者と比べて、“まちがにぎやかでなく店舗が不足しているから”を選ぶ割合が高かった。

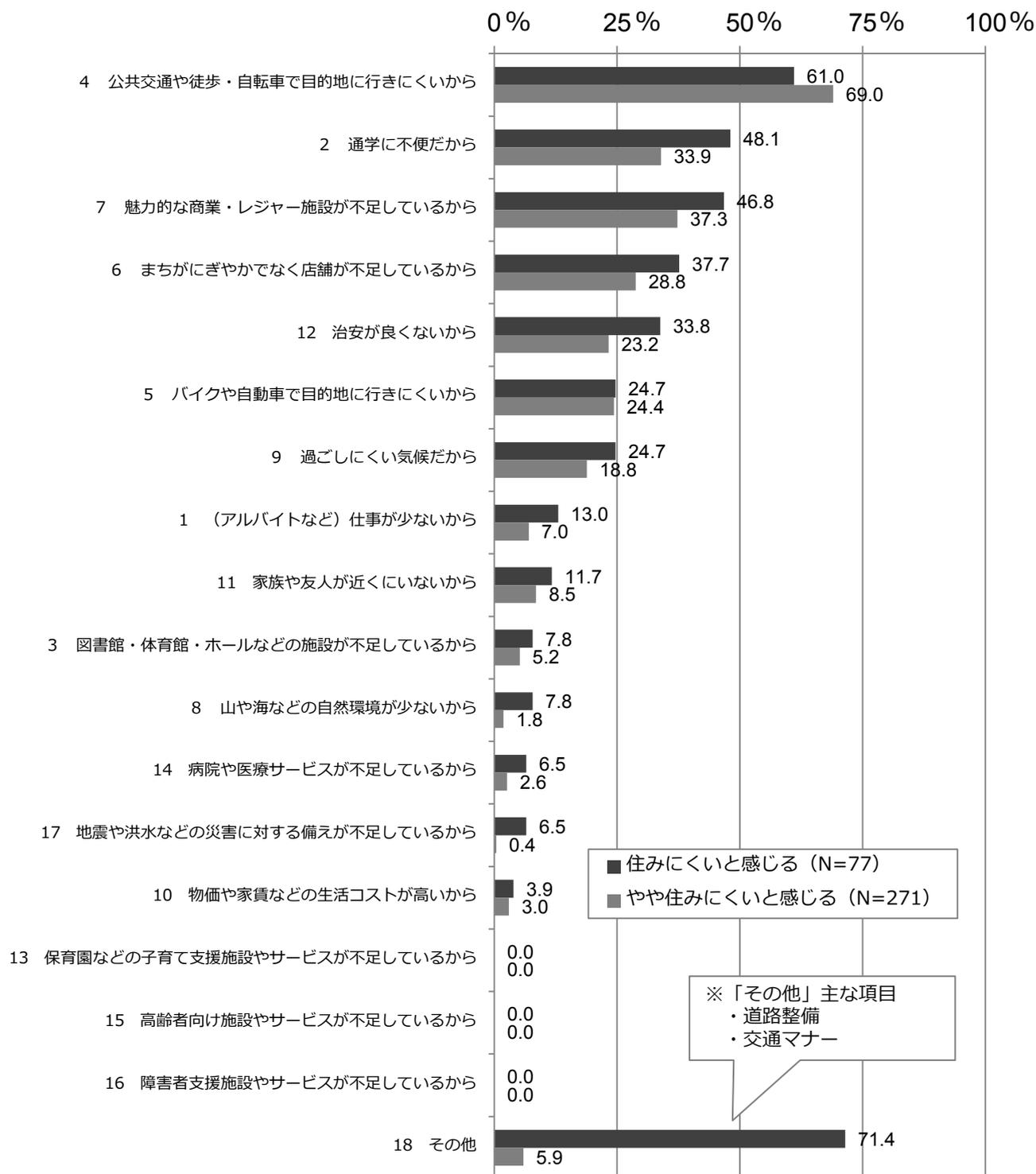
豊橋市が住みにくいと感ずる理由 (問18) ※複数回答



(9) 住みにくいと感ずる理由（住みやすさ評価別）

- 住みにくいと感ずる回答者は、やや住みにくいと感ずる回答者と比べて、“通学に不便だから”、“魅力的な商業・レジャー施設が不足しているから”を住みにくいと感ずる理由として選ぶ割合が高かった。また、住みにくいと感ずる回答者は、選択肢にない“その他”を選ぶ割合が71.4%と高かった。

豊橋市が住みにくいと感ずる理由（問18）※複数回答



※“住みにくいと感ずる”回答者での割合が多い項目順に並べ替え

(10) 住みにくいと感ずる理由（その他）

- その他の自由回答からは、主に道路整備や交通マナーに関することや、公共交通の使いづらさ（運行頻度・料金）が多く挙げられた。

豊橋市が住みにくいと感ずる理由 主な自由回答（問18）

道路について：30件

- ・ 道路整備が未熟（主要道の車線数が少ない上に、わき道が多く車の流れが悪い。自転車が走行するにあたって車道左端に余裕がない）
- ・ 渋滞が多い（右折専用レーン等の整備が不足している）
- ・ 人が多くて運転する時の道がこわい
- ・ 歩行者用信号が少ない

交通マナーについて：20件

- ・ 住民の交通マナーの悪さ（一時不停止・信号無視・無理な追い抜き等）
- ・ 交通マナーが最悪
- ・ 市民のモラルが低い

公共交通について：15件

- ・ 公共交通手段がバスしかないが運行時間帯が短く使いづらい
- ・ バスの運賃が高い
- ・ 電車を増やしてほしい

治安について：12件

- ・ 暗い道も多く不審者がいるかいないかで怖く感ずる
- ・ 街灯が少なすぎる
- ・ 夜になるとヤンキーと浮浪者が駅に多い

周辺の臭いについて：10件（豊橋技術科学大学の学生が記入）

- ・ 悪臭がするときがある。洗濯物が干せない
- ・ 農業の肥料で臭い日が臭くない日より多い。窓とドアを閉じてても臭いが侵入してくる

大学周辺のにぎわいについて：5件（豊橋技術科学大学の学生が記入）

- ・ 駅など栄えている地域は良いが大学付近がさみしすぎる
- ・ 駅のまわりにしか商業レジャー施設がないうえにアクセスに時間がかかる

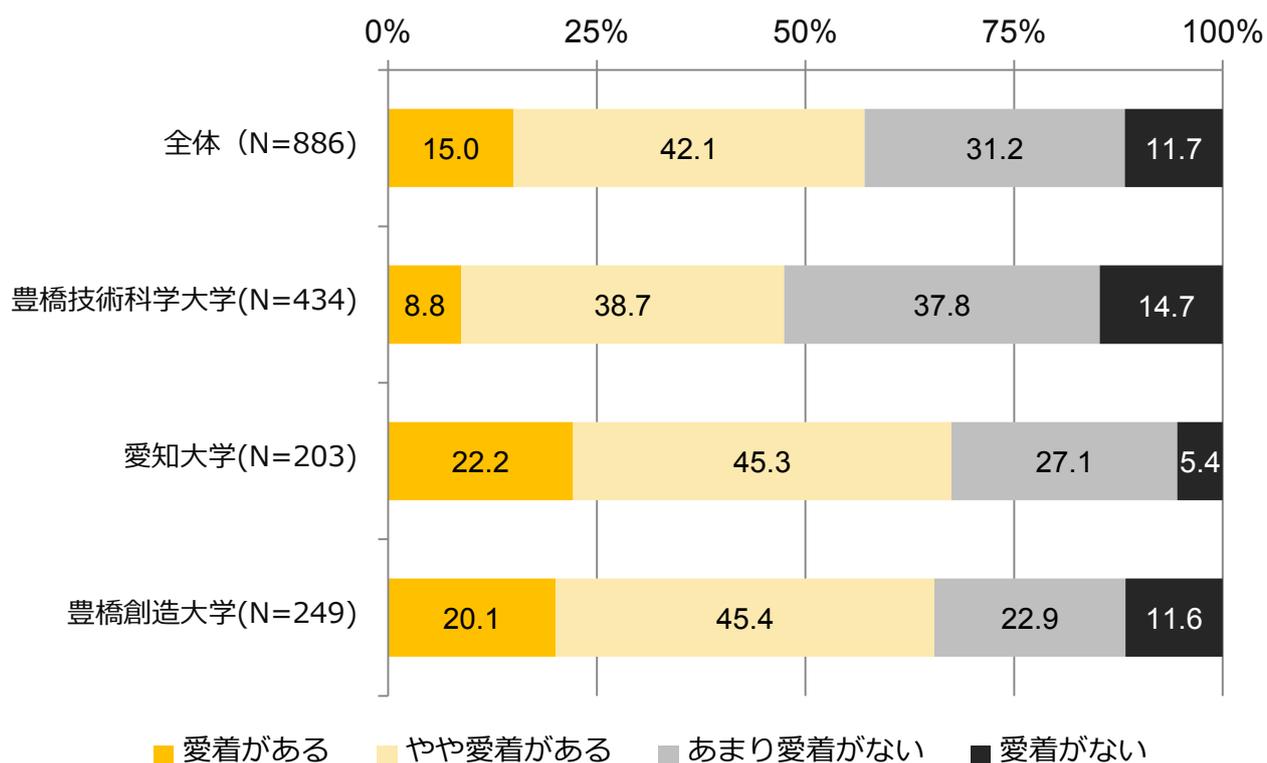
その他：7件

- ・ 冬のみ風が強い
- ・ 焼肉屋とラーメン屋ばかりで外食に選択肢が少ない
- ・ 名古屋と比べて賃金格差が大きい

(11) 豊橋市への愛着度（大学別）

- 豊橋技術科学大学の回答者において、“愛着がある”または“やや愛着がある”と回答した割合は47.5%と50%未満であった一方、愛知大学と豊橋創造大学の回答者において、“愛着がある”または“やや愛着がある”と回答した割合は愛知大学67.5%、豊橋創造大学65.5%と50%以上であった。

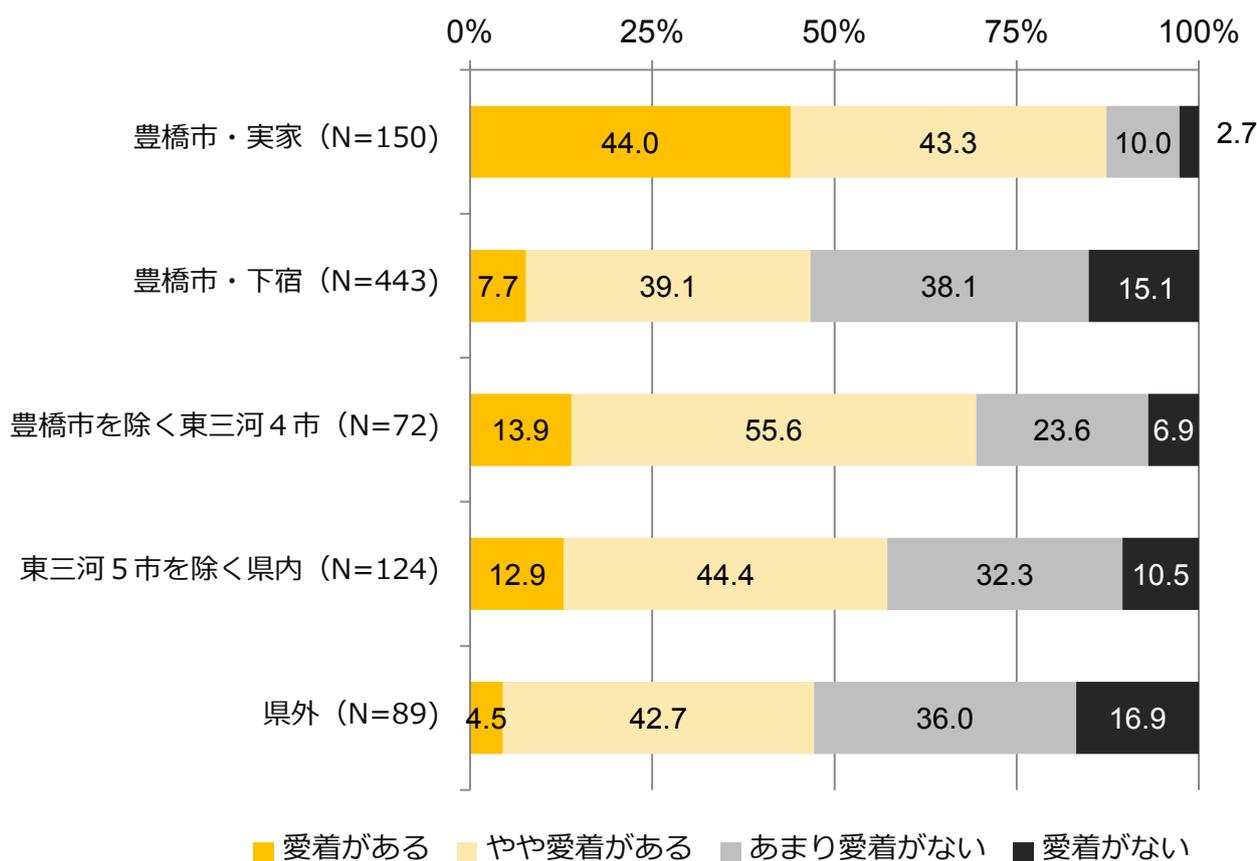
豊橋市に対してどの程度愛着がありますか（問19）



(12) 豊橋市への愛着度（居住地別）

- 豊橋市（実家）居住者において、“愛着がある”または“やや愛着がある”と回答した割合は87.3%と区分中最も高かった。また、愛着があると回答した割合が44.0%と区分中最も高かった。
- 豊橋市を除く東三河4市居住者と東三河5市を除く県内居住者において、“愛着がある”または“やや愛着がある”と回答した割合は、豊橋市を除く東三河4市居住者69.5%、東三河5市を除く県内居住者57.3%と50%以上であった。
- 豊橋市（下宿）居住者と県外居住者において、“愛着がある”または“やや愛着がある”と回答した割合は豊橋市（下宿）居住者46.8%、県外居住者47.2%と50%未満であった。

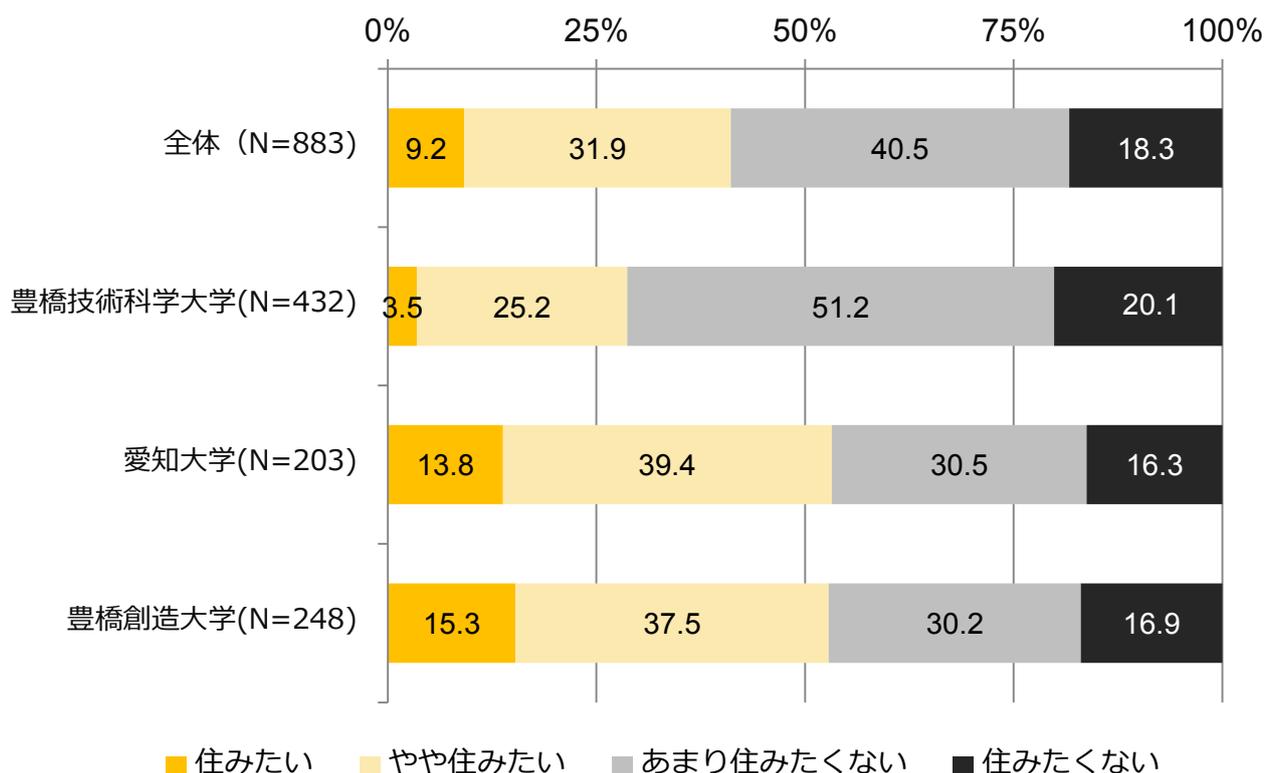
豊橋市に対してどの程度愛着がありますか（問19）



(13) 豊橋市への居留意向（大学別）

- 豊橋技術科学大学の回答者において、“住みたい”または“やや住みたい”と回答した割合は28.7%と50%未満であった。
- 愛知大学の回答者において、“住みたい”または“やや住みたい”と回答した割合は53.2%と50%以上であった。
- 豊橋創造大学の回答者において“住みたい”または“やや住みたい”と回答した割合は52.8%と50%以上であった。

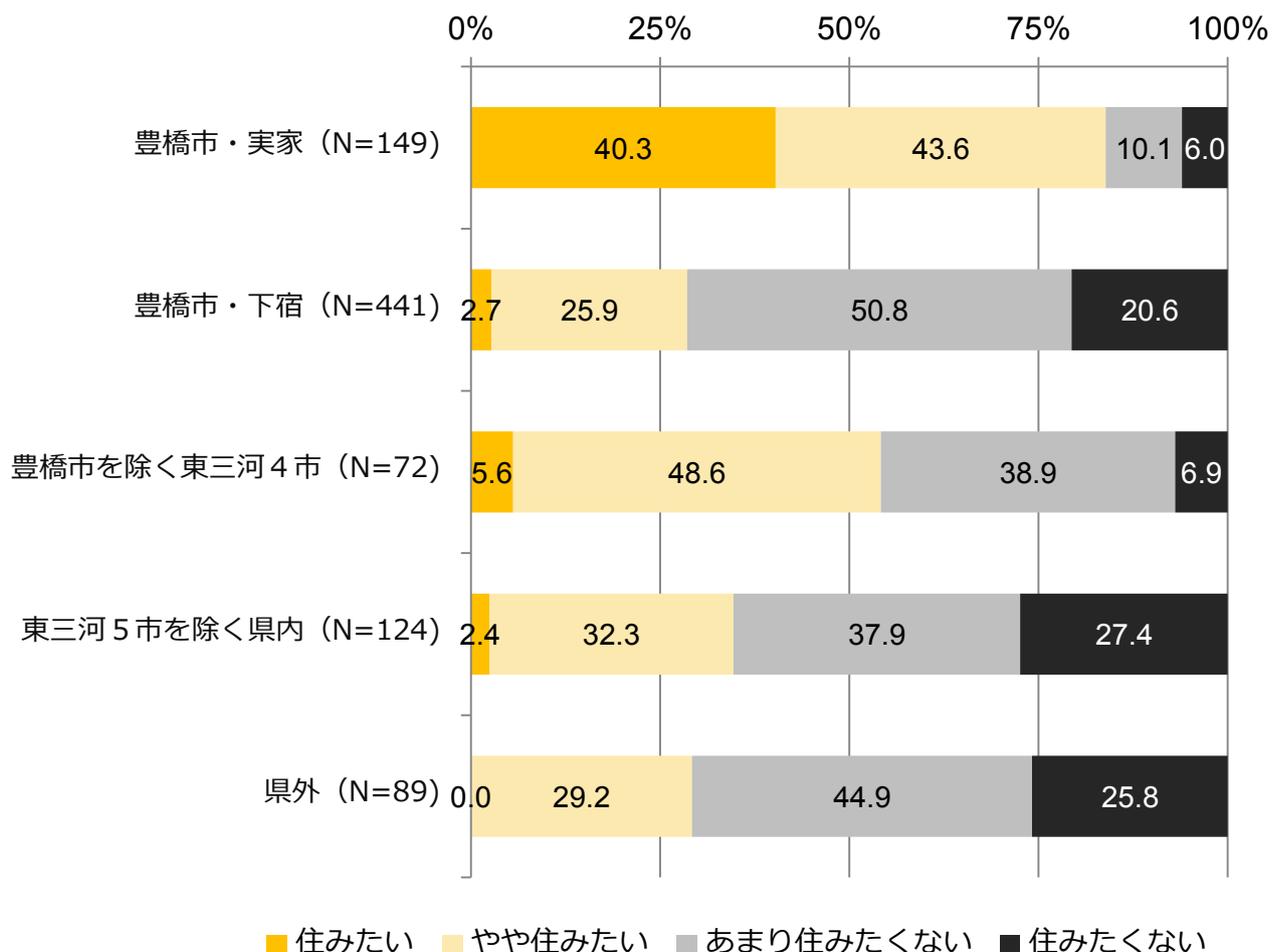
将来、豊橋市にどの程度住みたいと思いますか（問20）



(14) 豊橋市への居留意向（居住地別）

- 豊橋市（実家）居住者において、“住みたい”または“やや住みたい”と回答した割合は83.9%と区分中最も高かった。
- 豊橋市（下宿）居住者において、“住みたい”または“やや住みたい”と回答した割合は28.6%と区分中最も低かった。
- 豊橋市を除く東三河4市居住者において、“住みたい”または“やや住みたい”と回答した割合が54.2%と50%以上であった。
- 東三河5市を除く県内居住者において、“住みたい”または“やや住みたい”と回答した割合が34.7%と50%未満であった。
- 県外居住者において、“住みたい”または“やや住みたい”と回答した割合が29.2%と50%未満であった。

将来、豊橋市にどの程度住みたいと思いますか（問20）



(15) 長期的に住むまちに必要なこと（大学別）

- 大学によらず、長期的に住むまちに必要なことの上位2項目は“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすい”と“治安が良い”であった。
- 豊橋技術科学大学の回答者は、“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすい”を選ぶ割合が他大学より高かった。
- 愛知大学の回答者は、“子育てに対する支援が充実している”や“学校や教育サービスが充実している”を選ぶ割合が他大学より高かった。
- 豊橋創造大学の回答者は、“自分がやりたい仕事が充実している”や“妊娠・出産に関する支援が充実している”を選ぶ割合が他大学より高かった。

長期的に住むまちに必要なこと（問21）※複数回答

	豊橋技術科学 大学 (N=436)	愛知大学 (N=204)	豊橋創造大学 (N=249)	合計 (N=889)
1 自分がやりたい仕事が充実している	34.6	31.9	45.8	37.1
2 事業や商売がしやすい環境である	14.9	14.2	14.5	14.6
3 就業支援が充実している	12.2	17.2	18.1	15.0
4 起業支援が充実している	6.0	4.9	4.8	5.4
5 仕事と生活の両立に対する支援が充実している	31.9	38.2	31.7	33.3
6 公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすい	73.2	64.2	51.4	65.0
7 バイクや自動車で目的地に行きやすい	41.7	27.5	39.0	37.7
8 まちがにぎやかで店舗が充実している	42.7	41.2	35.3	40.3
9 魅力的な商業・レジャー施設が充実している	36.0	28.9	30.5	32.8
10 文化・芸術施設やイベントが充実している	15.6	23.0	12.9	16.5
11 スポーツ施設やイベントが充実している	22.7	13.2	17.3	19.0
12 山や海など豊かな自然環境がある	21.1	22.5	23.7	22.2
13 過ごしやすい気候である	47.7	45.1	40.2	45.0
14 家賃・物価などの生活コストが安い	40.4	37.3	37.3	38.8
15 家族や友人が近くにいる	21.6	41.7	38.2	30.8
16 治安が良い	62.4	65.2	52.6	60.3
17 結婚に関する支援が充実している	12.2	20.1	20.9	16.4
18 妊娠・出産に関する支援が充実している	15.1	32.8	34.5	24.6
19 子育てに関する支援が充実している	23.2	43.6	37.8	31.9
20 学校や教育サービスが充実している	29.6	44.1	29.7	33.0
21 医療施設やサービスが充実している	33.0	43.1	39.4	37.1
22 高齢者支援が充実している	9.4	18.6	24.9	15.9
23 障害者支援が充実している	6.7	11.8	18.1	11.0
24 地震や洪水などの災害リスクが低い	22.7	34.3	28.9	27.1
25 地震や洪水などの災害への備えが充実している	19.7	32.8	24.5	24.1
26 その他	4.4	0.0	1.2	2.5

単位：%

(16) 長期的に住むまちに必要なこと（居住地別）

- 居住地によらず、長期的に住むまちに必要なことの上位2項目は“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすい”と“治安が良い”であった。
- 豊橋市（実家）居住者は、他区分と比べて“家族や友人が近くにいる”を選ぶ割合が高かった一方、豊橋市（下宿）居住者は、他区分と比べて“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすい”を選ぶ割合が高かった。
- 豊橋市を除く東三河4市居住者は、他区分と比べて“バイクや自動車でも目的地に行きやすい”を選ぶ割合が高かった一方、東三河5市を除く県内居住者は、他区分と比べて“治安が良い”を選ぶ割合が高かった。

長期的に住むまちに必要なこと（問21）※複数回答

	豊橋市 実家 (N=150)	豊橋市 下宿 (N=445)	豊橋市を除く 東三河4市 (N=72)	東三河5市 を除く県内 (N=124)	県外 (N=90)
1 自分がやりたい仕事が充実している	40.0	35.7	31.9	38.7	41.1
2 事業や商売がしやすい環境である	14.7	13.9	9.7	14.5	21.1
3 就業支援が充実している	20.0	11.5	11.1	21.0	20.0
4 起業支援が充実している	6.7	5.4	4.2	5.6	3.3
5 仕事と生活の両立に対する支援が充実している	36.7	31.0	34.7	38.7	30.0
6 公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすい	60.7	69.9	61.1	62.9	54.4
7 バイクや自動車でも目的地に行きやすい	38.0	40.2	41.7	31.5	32.2
8 まちがにぎやかで店舗が充実している	39.3	43.1	29.2	41.1	38.9
9 魅力的な商業・レジャー施設が充実している	34.0	35.3	34.7	29.0	25.6
10 文化・芸術施設やイベントが充実している	18.7	15.5	18.1	17.7	16.7
11 スポーツ施設やイベントが充実している	18.7	21.3	15.3	16.9	14.4
12 山や海など豊かな自然環境がある	20.0	22.5	18.1	27.4	20.0
13 過ごしやすい気候である	47.3	46.5	29.2	46.0	43.3
14 家賃・物価などの生活コストが安い	42.7	40.4	40.3	33.1	31.1
15 家族や友人が近くにいる	48.0	21.1	36.1	36.3	40.0
16 治安が良い	51.3	62.9	52.8	66.1	62.2
17 結婚に関する支援が充実している	24.0	12.6	16.7	18.5	21.1
18 妊娠・出産に関する支援が充実している	36.7	16.2	27.8	35.5	30.0
19 子育てに関する支援が充実している	42.7	24.5	33.3	41.1	37.8
20 学校や教育サービスが充実している	35.3	29.0	33.3	46.0	31.1
21 医療施設やサービスが充実している	40.7	33.9	34.7	47.6	34.4
22 高齢者支援が充実している	22.0	10.6	18.1	25.0	17.8
23 障害者支援が充実している	15.3	7.4	8.3	19.4	12.2
24 地震や洪水などの災害リスクが低い	32.7	23.4	22.2	34.7	31.1
25 地震や洪水などの災害への備えが充実している	30.0	19.1	22.2	33.1	28.9
26 その他	3.3	3.1	1.4	0.8	0.0

単位：%

(17) 長期的に住むまちに必要なこと（豊橋市への居留意向別）

- 居留意向によらず、長期的に住むまちに必要なことの上位2項目は“公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすい”と“治安が良い”であった。
- 豊橋市への居留意向がある回答者は、豊橋市への居留意向がない回答者より“家族や友人が近くにいる”や“過ごしやすい気候である”を選ぶ傾向があった。
- 豊橋市への居留意向がない回答者は、豊橋市への居留意向がある回答者より“まちがにぎやかで店舗が充実している”や“魅力的な商業・レジャー施設が充実している”を選ぶ割合が高かった。

長期的に住むまちに必要なこと（問21）※複数回答

	住みたい (N=81)	やや住みたい (N=282)	あまり 住みたくない (N=358)	住みたくない (N=162)
1 自分がやりたい仕事で充実している	49.4	35.8	36.9	34.0
2 事業や商売がしやすい環境である	13.6	13.5	16.8	11.1
3 就業支援が充実している	25.9	18.4	10.9	13.0
4 起業支援が充実している	9.9	4.3	5.3	5.6
5 仕事と生活の両立に対する支援が充実している	44.4	35.8	32.4	25.9
6 公共交通や徒歩・自転車で目的地に行きやすい	55.6	67.0	64.8	66.7
7 バイクや自動車でも目的地に行きやすい	40.7	41.5	36.9	32.1
8 まちがにぎやかで店舗が充実している	35.8	40.4	39.4	44.4
9 魅力的な商業・レジャー施設が充実している	21.0	33.0	33.2	38.3
10 文化・芸術施設やイベントが充実している	24.7	16.3	14.0	19.1
11 スポーツ施設やイベントが充実している	21.0	15.2	23.2	16.0
12 山や海など豊かな自然環境がある	28.4	23.4	20.7	19.8
13 過ごしやすい気候である	51.9	45.7	45.3	40.7
14 家賃・物価などの生活コストが安い	42.0	42.9	38.3	32.1
15 家族や友人が近くにいる	51.9	33.0	26.5	26.5
16 治安が良い	56.8	59.6	62.0	59.9
17 結婚に関する支援が充実している	28.4	17.0	13.4	16.0
18 妊娠・出産に関する支援が充実している	39.5	28.7	18.4	24.1
19 子育てに関する支援が充実している	46.9	38.3	25.7	27.2
20 学校や教育サービスが充実している	33.3	37.2	29.9	32.1
21 医療施設やサービスが充実している	38.3	42.2	33.8	34.6
22 高齢者支援が充実している	21.0	18.8	14.0	12.3
23 障害者支援が充実している	18.5	12.1	9.5	8.6
24 地震や洪水などの災害リスクが低い	35.8	27.3	24.0	29.0
25 地震や洪水などの災害への備えが充実している	33.3	29.1	18.7	21.6
26 その他	3.7	1.1	1.7	6.2

単位：％

(18) 長期的に住むまちに必要なこと（その他）

- その他の自由回答からは、公共交通の利便性や、自転車・車などでの移動における安全性に関することが多く挙げられた。

長期的に住むまちに必要なこと 主な自由回答（問21）

公共交通を使って目的地まで移動しやすい：7件

- ・ 車がなくても住みやすい
- ・ タクシー無料 研究都市にしてほしい
- ・ 技科大から駅までのアクセスが車を使わないと不便。学生はこれからも入れ替り入ってくるので整備して欲しい。学生に優しいまちになってくれればと思う
- ・ 豊鉄バスが高いので、半分の値段に設定して欲しい

自転車・バイクや車を使って安全に移動ができる：6件

- ・ 道がひろい 交通マナーの向上 危険運転の取り締まり強化
- ・ 道を広く、明確に 自転車にも安全な交通網を
- ・ 乗り物の運転がしっかりしているまち
- ・ 交通事故が少ない

その他：12件

- ・ 全てにおいて大切だと思います
- ・ 愛着のあるまちであること
- ・ 小中学校の時は気にならなかったけれど、高校大学では買い物（服など）で浜松や岡崎、名古屋に行くようになったので豊橋にも若者がすぐ行けるショッピングモールがあれば嬉しいなと思います
- ・ 音楽フェス呼んで欲しい！

4. アンケート調査票

まちづくりに関する大学生アンケート

はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。

問1 在籍している大学をお知らせください（○は1つだけ）

- | | | |
|------------|--------|----------|
| 1 豊橋技術科学大学 | 2 愛知大学 | 3 豊橋創造大学 |
|------------|--------|----------|

問2 学年をお知らせください（○は1つだけ）

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| 1 短期大学部 2年 | 3 (4年制大学) 学部4年 | 5 大学院 博士課程 3年 |
| 2 短期大学部 専攻科1年 | 4 大学院 修士課程 2年 | 6 その他() |

問3 在籍している大学の学部、学科、専攻等をお知らせください（○は1つだけ）

【豊橋技術科学大学に在籍している方】

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1 機械工学 | 3 情報・知能工学 | 5 建築・都市システム学 |
| 2 電気・電子情報工学 | 4 環境・生命工学 | 6 総合教育院 |

【愛知大学に在籍している方】

- | | |
|----------|---------------|
| 7 文学部 | 9 ライフデザイン総合学科 |
| 8 地域政策学部 | 10 文学研究科 |

【豊橋創造大学に在籍している方】

- | | | |
|-------------|-------------|----------------|
| 11 健康科学研究科 | 14 看護学科 | 17 キャリアプランニング科 |
| 12 経営情報学研究科 | 15 経営学科 | 18 専攻科(福祉専攻) |
| 13 理学療法学科 | 16 幼児教育・保育科 | 19 専攻科(医療情報専攻) |

問4 性別をお知らせください（○は1つだけ）

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問5 現在お住まいの場所をお知らせください（○は1つだけ）

- | | | |
|-------|--------------|-----------------|
| 1 豊橋市 | 6 名古屋市 | 11 浜松市 |
| 2 豊川市 | 7 岡崎市 | 12 10~11以外の静岡県内 |
| 3 蒲郡市 | 8 豊田市 | 13 その他の市町村 |
| 4 新城市 | 9 1~8以外の愛知県内 | |
| 5 田原市 | 10 湖西市 | |

問6 現在お住まいの状況をお知らせください（○は1つだけ）

- | | | |
|------|------|----------|
| 1 実家 | 2 下宿 | 3 その他() |
|------|------|----------|

次に、あなたの今後の進路についてお伺いします。

問7 卒業後の進路をお知らせください（○は1つだけ）

- | | |
|------------|----------------|
| 1 就職 →問8へ | 3 家業を継ぐ →問16へ |
| 2 進学 →問16へ | 4 その他() →問16へ |

問8から問15までの設問は問7で1（就職）を選択した方のみご回答ください。
※問7で2～4を選択した方は、問16へお進みください。

問8 卒業後の勤務地をお知らせください（○は1つだけ）

- | | |
|--------|--------------------------|
| 1 豊橋市 | 9 1~8以外の愛知県内 |
| 2 豊川市 | 10 湖西市 |
| 3 蒲郡市 | 11 浜松市 |
| 4 新城市 | 12 10~11以外の静岡県内 |
| 5 田原市 | 13 首都圏(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県) |
| 6 名古屋市 | 14 その他の市町村 |
| 7 岡崎市 | 15 現時点で未定 |
| 8 豊田市 | |

問9 卒業後のお住まいの予定についてお知らせください（○は1つだけ）

- | | | |
|------|------|----------|
| 1 実家 | 2 下宿 | 3 現時点で未定 |
|------|------|----------|

問10 豊橋市内の企業・自治体等に就職活動を行いましたか（○は1つだけ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 はい → 問11へ | 2 いいえ → 問13へ |
|-------------|--------------|

問11 問10で1（はい）と答えた方にお伺いします。

豊橋市内の企業・自治体等に就職活動を行った理由をお知らせください
(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 家族や友人の近くで生活したいから | 6 志望業界の企業があったから |
| 2 家族に地元に残るよう言われたから | 7 志望職種の募集があったから |
| 3 実家から通えて経済的負担が少ないから | 8 給与・福利厚生レベルが良かったから |
| 4 豊橋市での暮らしに慣れているから | 9 その他(具体的に) |
| 5 豊橋市の雰囲気が好きだから | |

問12 引き続き、問10で1（はい）と答えた方にお伺いします。

豊橋市内の企業・自治体等の採用情報をどのように知りましたか(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1 民間の就職情報サイト(リクナビなど)を見て | 6 学外で行われた企業説明会に参加して |
| 2 学校の求人情報サイト(求人検索 NAVI など)を見て | 7 研究室・ゼミやキャリアセンターの紹介を通じて |
| 3 ダイレクトメールを見て | 8 家族・知人からの紹介を通じて |
| 4 ホームページの採用情報を見て | 9 その他(具体的に) |
| 5 学内で行われた企業説明会に参加して | |

問13 問10で2（いいえ）と答えた方にお伺いします。

豊橋市内の企業・自治体等の採用情報を調べましたか (○は1つだけ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問14 豊橋市内の企業・自治体等に就職活動を行わなかった理由をお知らせください。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 家族や友人の近くで生活したいから | 7 志望職種の募集がなかったから →問15へ |
| 2 家族に地元に残るよう言われたから | 8 給料・福利厚生レベルが十分でなかったから |
| 3 実家を離れたかったから | 9 大都市の方が魅力的だから |
| 4 豊橋市での暮らしに慣れなかったから | 10 大手企業がなかったから |
| 5 豊橋市の雰囲気が好きではないから | 11 その他(具体的に) |
| 6 志望業界の企業がなかったから →問15へ | |

問15 問14で6（志望業界の企業がなかったから）または7（志望職種の募集がなかったから）と答えた方にお伺いします。

どのような業界や職種の募集が豊橋市内にないと感じたかお知らせください。

最後に、豊橋市の今後のまちづくりの参考とするためにお伺いします。

問 1 6 豊橋市はどの程度住みやすいと感じますか（○は1つだけ）

豊橋市にお住まいでない方は、通学して感じてお感じになることにお答えください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 住みやすいと感じる →問17へ | 3 やや住みにくと感じる →問18へ |
| 2 まあまあ住みやすいと感じる →問17へ | 4 住みにくと感じる →問18へ |

問 1 7 問 1 6 で 1（住みやすい）または 2（まあまあ住みやすい）と答えた方にお伺いします。豊橋市が住みやすいと感じる点はどこですか（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 1（アルバイトなど）仕事が充実しているから | 11 家族や友人が近くにいるから |
| 2 通学に便利だから | 12 治安が良いから |
| 3 図書館・体育館・芸術ホールなどの施設が充実しているから | 13 保育園などの子育て支援施設やサービスが充実しているから |
| 4 公共交通（鉄道、バス）や徒歩・自転車で目的地に行きやすいから | 14 病院や医療サービスが充実しているから |
| 5 バイクや自動車です目的地に行きやすいから | 15 高齢者向け施設やサービスが充実しているから |
| 6 まちがにぎやかで店舗が充実しているから | 16 障害者支援施設やサービスが充実しているから |
| 7 魅力的な商業・レジャー施設が充実しているから | 17 地震や洪水などの災害に対する備えが充実しているから |
| 8 山や海など豊かな自然環境があるから | 18 その他 [] |
| 9 過ごしやすい気候だから | |
| 10 物価や家賃などの生活コストが安いから | |

問 1 8 問 1 6 で 3（やや住みにく）または 4（住みにく）と答えた方にお伺いします。豊橋市が住みにくと感じる点はどこですか（○はいくつでも）。

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 1（アルバイトなど）仕事が少ないから | 11 家族や友人が近くにいないから |
| 2 通学に不便だから | 12 治安が良くないから |
| 3 図書館・体育館・ホールなどの施設が不足しているから | 13 保育園などの子育て支援施設やサービスが不足しているから |
| 4 公共交通（鉄道、バス）や徒歩・自転車で目的地に行きにくいから | 14 病院や医療サービスが不足しているから |
| 5 バイクや自動車です目的地に行きにくいから | 15 高齢者向け施設やサービスが不足しているから |
| 6 まちがにぎやかでなく店舗が不足しているから | 16 障害者支援施設やサービスが不足しているから |
| 7 魅力的な商業・レジャー施設が不足しているから | 17 地震や洪水などの災害に対する備えが不足しているから |
| 8 山や海などの自然環境が少ないから | 18 その他 [] |
| 9 過ごしにくい気候だから | |
| 10 物価や家賃などの生活コストが高いから | |

問19 豊橋市に対してどの程度愛着がありますか（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|------------|
| 1 愛着がある | 3 あまり愛着がない |
| 2 やや愛着がある | 4 愛着がない |

問20 将来、豊橋市にどの程度住みたいと思いますか（○は1つだけ）

- | | |
|----------|-------------|
| 1 住みたい | 3 あまり住みたくない |
| 2 やや住みたい | 4 住みたくない |

問21 あなたが将来長期的に住むまちには、どのようなことが必要だと考えますか。
（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------------------|--------------------------|
| 1 自分がやりたい仕事充実している | 14 家賃・物価などの生活コストが安い |
| 2 事業や商売がしやすい環境である | 15 家族や友人が近くにいる |
| 3 就業支援が充実している | 16 治安が良い |
| 4 起業支援が充実している | 17 結婚に関する支援が充実している |
| 5 仕事と生活の両立に対する支援が充実している | 18 妊娠・出産に関する支援が充実している |
| 6 公共交通（鉄道、バス）や徒歩・自転車で目的地
に行きやすい | 19 子育てに関する支援が充実している |
| 7 バイクや自動車ですぐ目的地に行きやすい | 20 学校や教育サービスが充実している |
| 8 まちがにぎやかで店舗が充実している | 21 医療施設やサービスが充実している |
| 9 魅力的な商業・レジャー施設が充実している | 22 高齢者支援が充実している |
| 10 文化・芸術施設やイベントが充実している | 23 障害者支援が充実している |
| 11 スポーツ施設やイベントが充実している | 24 地震や洪水などの災害リスクが低い |
| 12 山や海など豊かな自然環境がある | 25 地震や洪水などの災害への備えが充実している |
| 13 過ごしやすい気候である | 26 その他 [] |

お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

大学生定住意識調査報告書

平成28年3月

発行：豊橋市企画部政策企画課

〒440-8501 愛知県豊橋市今橋町1番地

TEL：0532-51-3151 FAX：0532-56-5091

Hello
anniv.

こんにちは、110周年。
すーっとよろしく、豊橋。